

ファイル自動整頓ツール 取り扱い説明書

第 1.3.1

目次

1	はじめに	- 2 -
2	ファイル自動整頓ツールでできること	- 3 -
3	ファイル自動整頓ツールの処理フロー	- 4 -
4	ソフトウェア使用許諾契約書	- 8 -
5	注意/制限事項	- 9 -
6	保守サービス・導入オプションサービスのご案内	- 11 -
7	動作環境	- 12 -
8	インストールの準備	- 14 -
9	アドバンスドボックスの設定	- 15 -
10	アドバンスドボックス接続用アカウントの作成	- 19 -
11	監視対象フォルダーのパスの確認	- 22 -
12	ファイル自動整頓ツールのインストール	- 25 -
13	ファイル自動整頓ツールの設定	- 30 -
14	設定のインポート/エクスポート	- 36 -
15	状況確認	- 38 -
16	ログエクスポート	- 39 -
17	ファイル自動整頓ツールのアンインストール	- 40 -
18	トラブルシューティング	- 46 -
19	付録 エラーメッセージ・ログ 一覧	- 52 -

1 はじめに

本書は、キヤノン製複合機 imageRUNNER ADVANCE (以下複合機)に「ファイル自動整頓ツール」をご利用する方が対象です。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版	: Windows XP
Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版	: Windows Vista
Microsoft® Windows 7™ operating system 日本語版	: Windows 7

商標について

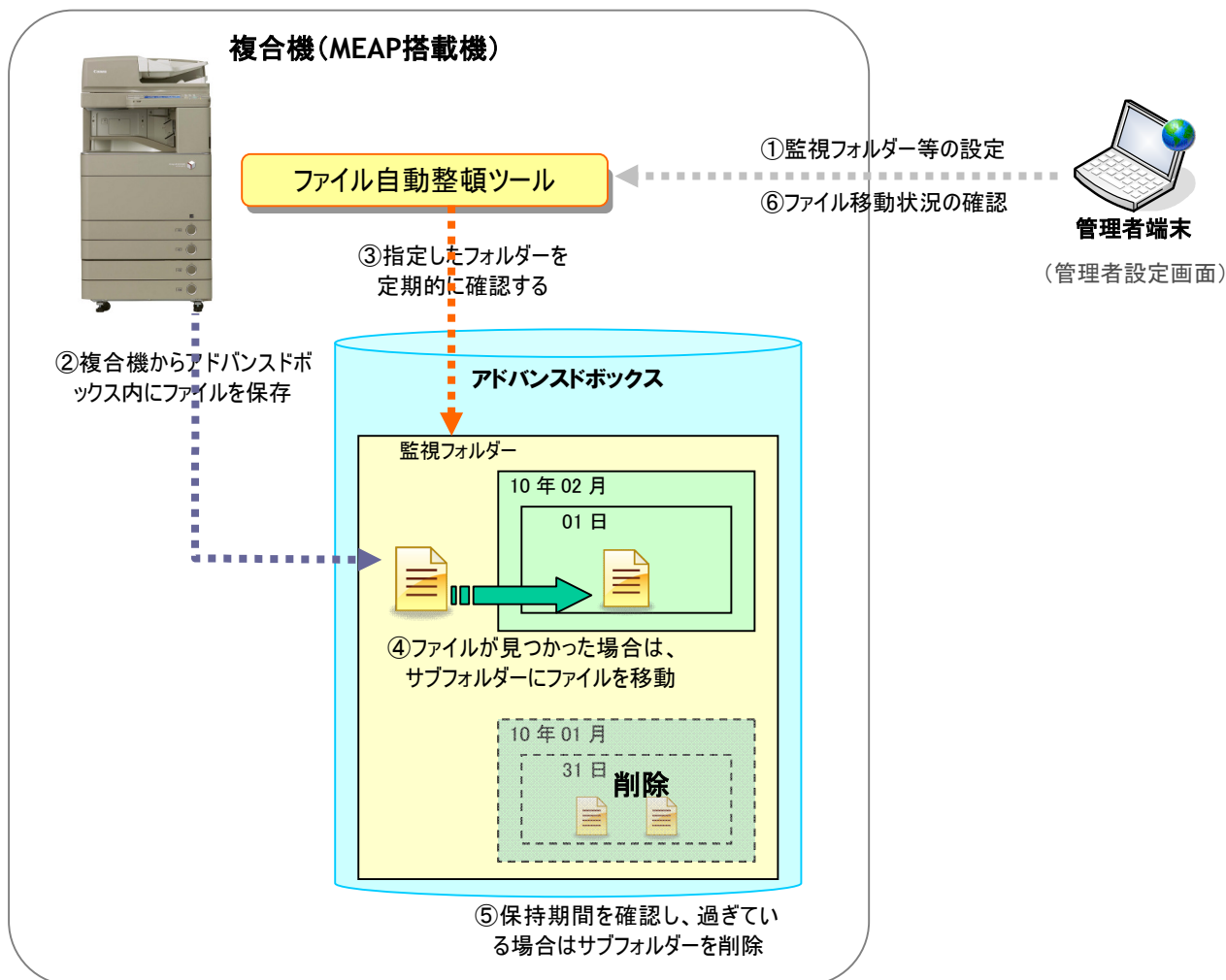
Canon、Canon ロゴ、imageRUNNER ADVANCE はキヤノン株式会社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

用語について

用語/略称	説明
MEAP	MEAPとは Multifunctional Embedded Application Platform の略で、複合機などの周辺機器に組み込まれるソフトウェアプラットフォーム。 Java(J2ME=Java2 Platform Micro Edition)Platform 環境を基礎にしており、その上で Java Application(MEAP Application)を実行可能としたものです。
複合機	キヤノン製複合機 imageRUNNER ADVANCE/imagePRESS の総称
SMS (Service Management Service)	Web ブラウザを利用してネットワーク経由で複合機にアクセスし、MEAP アプリケーションのインストールや管理を行う複合機本体付属のソフトウェア。 使用方法については複合機本体付属のマニュアル「MEAP アプリケーション管理機能ガイド」を参照してください。
SMB プロトコル	ネットワーク上のコンピューター間の通信プロトコルで、Windows ネットワークもこれを利用しています。ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。
NTLMv2 認証	Windows でネットワーク・ログオン時などに使われる認証方式の一つ。
ファイル格納通知ツール	キヤノンのホームページから無償でダウンロード可能なソフトウェアです。 ネットワーク上の複合機から SEND 機能を使って送信したファイルをクライアント PC が受信・格納したときに、PC のディスプレイ上に通知するツールです。 ファイルが送信されたことを音やバルーンなどでお知らせするので、他の業務に専念することができます。またログを保存することもできるので、あとから履歴を確認することができます。
アドバンスドボックス	本体に標準搭載されている HDD の領域を利用し、SMB または WebDAV プロトコルにてファイル共有を実現します。

2 ファイル自動整頓ツールでできること

本アプリケーションは imageRUNNER ADVANCE のアドバンスドボックスに保存されたファイルを自動的に整理・整頓する MEAP アプリケーションです。本ツールは指定されたフォルダーを定期的に監視し、フォルダーに格納されたファイルをサブフォルダーへ移動します。また、サブフォルダーへ移動したファイルは保持期間を設定する事で、保持期間を過ぎたファイルはサブフォルダーごと自動削除する事ができます。これにより、受信 FAX 転送先としてアドバンスドボックスを利用している場合のファイルの整理、日付別の検索性向上につながります。

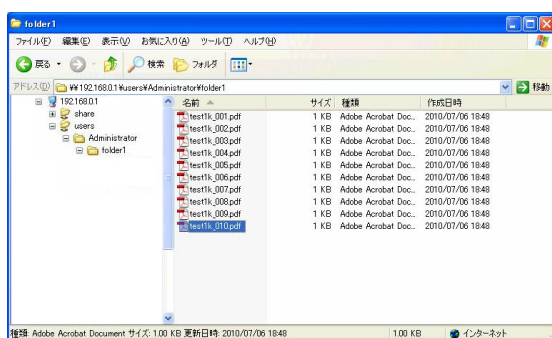
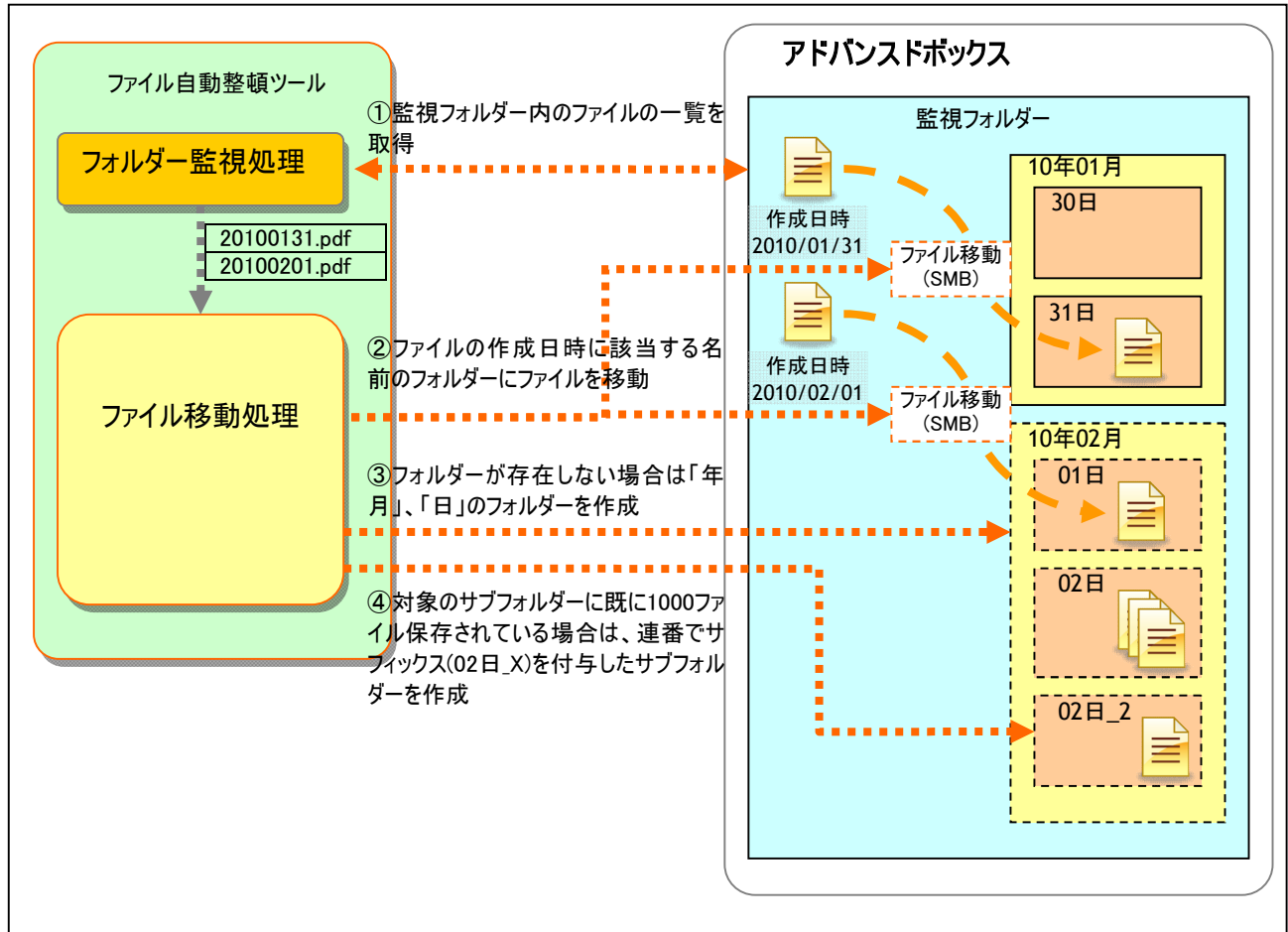


- ① 管理者端末よりファイル自動整頓ツールの管理者用画面へ接続し、監視設定を行います。
- ② 複合機からアドバンスドボックスの監視フォルダーへファイルを保存します。
- ③ ファイル自動整頓ツールにより定期的に監視対象フォルダーを監視します。
- ④ 監視対象フォルダーにファイルが存在した場合、ファイルの作成日を基にフォルダーを作成しファイルを移動します。
- ⑤ 保持期間を過ぎたフォルダーが存在するかフォルダー名より判断し、過ぎている場合は該当するフォルダーを削除します。
- ⑥ 管理者端末よりファイル自動整頓ツールの管理者用アプリケーションへ接続し、監視の状況を確認します。

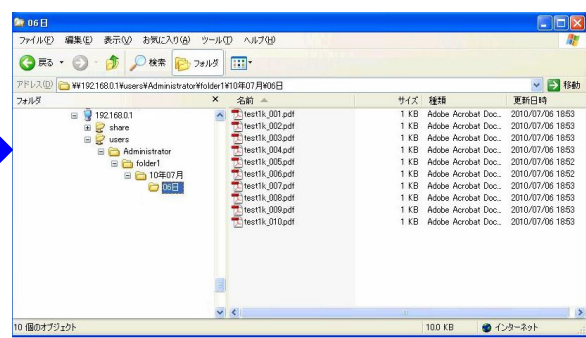
3 ファイル自動整頓ツールの処理フロー

ファイル自動整頓ツールの処理フローは以下の通りです。

■ファイル移動処理

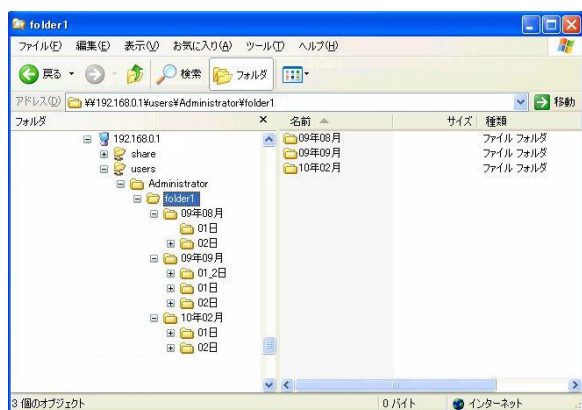
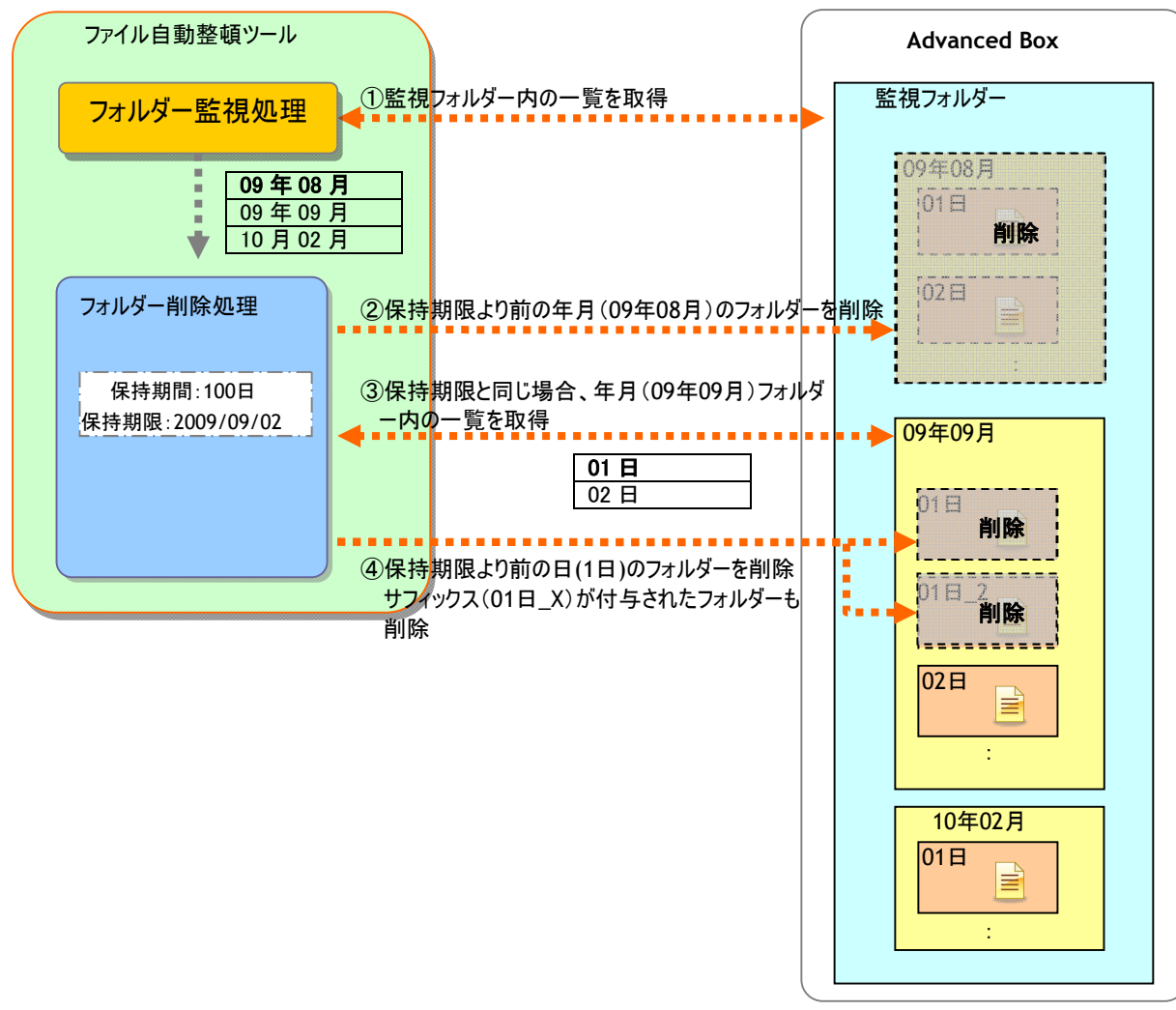


移動

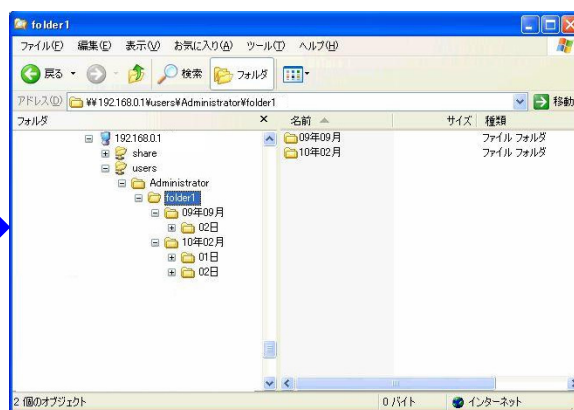


■フォルダー削除処理

システム日時: 2009/12/08



削除



■処理タイミングの詳細

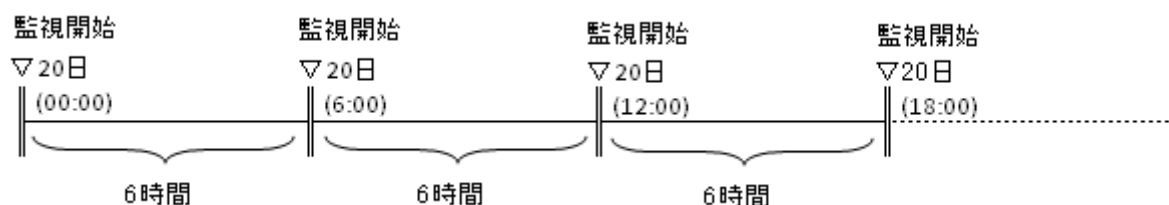
フォルダー監視処理のタイミング

フォルダー監視処理は午前 0 時から本ツールで指定した監視間隔毎に実行します。
フォルダー監視処理のタイミングでファイル移動処理、フォルダー削除処理もそれぞれ実行します。

<監視間隔:24 時間(デフォルト)の場合>



<監視間隔:6 時間とした場合の例>



<ファイル移動処理>

ファイル移動処理はフォルダー監視処理のタイミングで行います。
監視対象のフォルダー直下にあるファイルを見つけると、サブフォルダーを作成し移動します。
サブフォルダー名はファイルの作成日を基に作成します。

【サブフォルダーの作成例】

ファイル作成日:2010/07/01

移動先フォルダーパス:[監視フォルダーパス]¥10 年 07 月¥01 日

移動先のサブフォルダー内のファイル数が 1,000 ファイルになった場合、サブフォルダー名に連番を付けて新しいフォルダーを作成します。

【連番付のサブフォルダー作成例】

ファイル作成日:2010/07/01

移動先フォルダーパス:[監視フォルダーパス]¥10 年 07 月¥01 日・・・1000 ファイルとなった場合

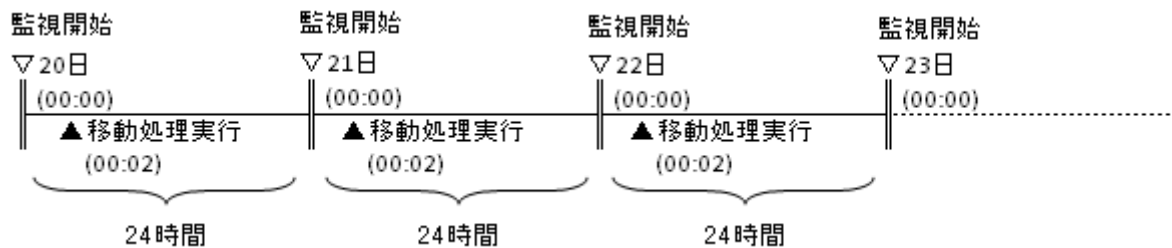
移動先フォルダーパス:[監視フォルダーパス]¥10 年 07 月¥01 日_2

<ファイルの移動待機時間>

「ファイルの移動待機時間」(デフォルト:2分)が指定されている場合、新たなファイルを検出しても2分間待機してからファイルを移動させます。

これにより、「ファイル格納通知ツール」や利用者が新たなファイルを検知・参照する前に移動しないような間隔に設定する事ができます。

<ファイルの移動待機時間を2分(デフォルト)とした場合の例>



※上記はフォルダー監視処理から 00:00 にファイル移動処理が呼び出された場合の例です。

<フォルダー削除処理>

フォルダー削除処理はフォルダー監視処理のタイミングで実行されます。

「フォルダーを自動的に削除する」のチェックを ON に設定した場合のみ実行されます。

フォルダー削除処理は、ファイル移動処理で作成したサブフォルダーを対象に、保持期限を過ぎたサブフォルダーを削除します。

4 ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアをご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意してキャノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キャノンマーケティングジャパン）との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本ソフトウェアおよびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンマーケティングジャパンまたはキャノンマーケティングジャパンのライセンサーに帰属します。
2. キャノンマーケティングジャパンは、本ソフトウェアのユーザー（以下ユーザーといいます。）に対し、ユーザ自身が本ソフトウェアに対応するキャノン製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザーは、本ソフトウェアの全部または一部について、販売、頒布、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することならびにこれらの行為を第三者に許諾することはできません。
4. キャノンマーケティングジャパンおよびキャノンマーケティングジャパンのライセンサーは、本ソフトウェアがユーザーの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
5. キャノンマーケティングジャパンおよびキャノンマーケティングジャパンのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
6. ユーザーは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

以上

5 注意/制限事項

- ・ アドバンスドボックスに格納されているデータは定期的にバックアップを実施して下さい。
- ・ 大切なデータは PC およびメディアでの保存運用をお願いいたします。また、重要な書面の原本は必ず別途保管運用してください。
- ・ 万が一、記憶媒体(HDD など)に不具合が生じた場合、蓄積されたデータ、設定登録されたデータなどが消失することがあります。
- ・ 「フォルダーを自動的に削除する」を設定する場合、事前に大切なデータをバックアップして下さい。
- ・ 「フォルダーを自動的に削除する」を設定する場合、ファイルの作成日時を判断基準にして作成された日付別のサブフォルダーとその中のファイルを全て削除します。サブフォルダーの中へは大切なデータを保管しないで下さい。
- ・ アドバンスドボックス内にファイルやフォルダーを保存した場合やファイル名を変更した場合、ファイル・フォルダーの作成日時、更新日時が変更されます。本ツールにより移動したファイルの作成日時、更新日時も同様に移動した日時へ変更されます。
- ・ 移動先のサブフォルダー内に既に同じ名前のファイルが存在する場合は移動できません。
- ・ 監視対象フォルダー数とファイル数が最大の場合(合計 10 フォルダー × 1,000 ファイル × 50Kbyte)で、監視処理完了には約 6 時間かかります。
- ・ 監視対象フォルダーに監視対象間隔(デフォルト: 24 時間)よりも短い間隔で、大量にファイルが格納された場合、振り分け実行前に 1,000 ファイルに到達してしまう可能性があります。
- ・ ネットアイを利用してリモートでファームのバージョンアップを実施している場合、監視処理は中断してシャットダウンされます。
- ・ 監視処理中にシャットダウンした場合は翌日のスケジューリング時間に監視処理を行いません。
- ・ 本ツールは本体内のアドバンスドボックスに対して監視を行うため、ループバックアドレス(127.0.0.1)の IP アドレスに対して SMB プロトコルでの通信を行います。他の複合機のアドバンスドボックスに対しての監視はできません。
- ・ MFP 本体の「設定/登録」>[環境設定]>[ネットワーク]>[ファイアウォール設定]>[フィルター設定]を実施している場合、MFP 自身の IP アドレスおよびローカルホストアドレス(127.0.0.1)を許可する IP アドレスへ追加して下さい。
- ・ SMB プロトコルを使用してアドバンスドボックスの認証機能を利用する場合、認証方式は NTLMv2 認証で行います。複合機本体の SMB サーバー設定の「SMB サーバーを使用」及び、SMB 認証設定の認証タイプ「NTLMv2」の設定を ON にする必要があります。
- ・ アドバンスドボックスのフォルダーにアクセスする際のパス文字列は最大 128 文字までとなります。

- ・ 管理者設定画面で設定を行うためには、Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Oracle 社のサイトから最新版の JavaVM (Virtual Machine) をダウンロードしてお使いの PC にインストールしてください。
- ・ Java2 Runtime Enviroment (以下、JRE) の不具合により、JRE6 Update4 および、Update5 では正常に動作しません。
- ・ 古いバージョンの JRE7 (Update1 など) を利用した場合、正常に動作しない事があります。

6 保守サービス・導入オプションサービスのご案内

■保守サービス

本アプリケーションを安心してご利用頂く為に、月額 700 円の保守サービスをご用意しております。

月額保守料金方式

保守タイプ	保守コード	月額金額
MG オプション	MEAP-FILE	700 円/月

※月額保守料金方式は、複合機の MG 保守オプションとして月次にて請求されます。

※詳細については複合機の担当セールスにお問い合わせください。

【サービス内容】

1. 操作問い合わせ／障害発生時のサポート窓口の開設

MEAP アプリケーションの操作に関する問い合わせや、障害発生時の通報を受け付ける専用電話サポート窓口を開設します。窓口では、お客様の相談内容に応じた解決策（操作方法のご説明・障害復旧の支援）を電話等でお伝えします。

2. アプリケーションリカバリサービス

上記電話サポートの結果、オンサイトの対応が必要であると窓口が判断した場合、MEAP アプリケーションの再インストール作業もしくはバージョンアップの適用を実施します。但し、バージョンアップの適用については、バージョンアップが存在しない場合または提供不可能の場合は、実施は行わないものとします。再インストール作業もしくはバージョンアップの適用作業は、担当するサービス実施店で作業実施いたします。

■導入オプションサービス

本アプリケーションのインストール、及び基本設定作業を有償にて代行いたします。

商品名	商品 CD	標準小売価格
ファイル自動整頓ツールインストールサービス(5000)	329ZZ860	5,000 円

※詳細については複合機の担当セールスにお問い合わせください。

7 動作環境

本アプリケーションの動作環境は次の通りです。

■対応機種

本ツールに対応する機種は以下のとおりです。

カラー複合機

- imageRUNNER ADVANCE C5035/C5030
- imageRUNNER ADVANCE C5051/C5045
- imageRUNNER ADVANCE C5240/C5235
- imageRUNNER ADVANCE C5255/C5250
- imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055
- imageRUNNER ADVANCE C7270/C7260
- imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO
- imageRUNNER ADVANCE C9280 PRO/C9270 PRO

モノクロ複合機

- imageRUNNER ADVANCE 4045/4035/4025
- imageRUNNER ADVANCE 4245/4235/4225
- imageRUNNER ADVANCE 6075/6065/6055
- imageRUNNER ADVANCE 6275/6265/6255
- imageRUNNER ADVANCE 8105 PRO/8095 PRO/8085 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8205 PRO
- imageRUNNER ADVANCE 8295 PRO/8285 PRO

■対応 OS・ブラウザ

[対応 OS]

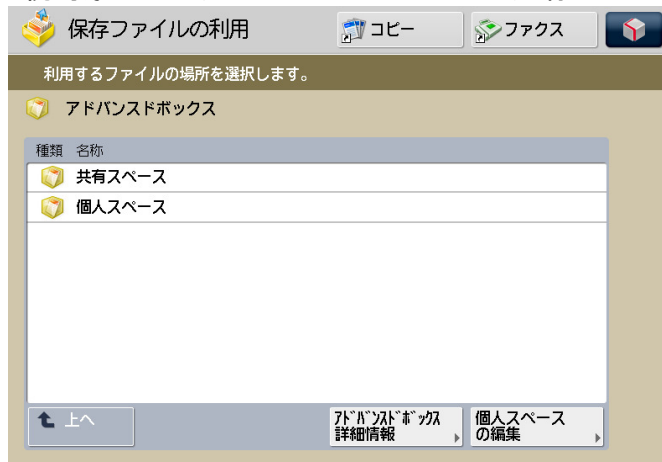
- Windows XP SP3 以降
- Windows Vista SP2 以降
- Windows 7

[対応ブラウザ]

- Internet Explorer 6.0 SP2
- Internet Explorer 7
- Internet Explorer 8
- Internet Explorer 9
- Internet Explorer 10
- Internet Explorer 11

■監視フォルダーについて

- ・最大 10 フォルダーまで監視フォルダーを指定できます。
- ・監視対象のフォルダーはアドバンスドボックスの共有スペース、「個人スペース」内のフォルダーを設定します。



■本ツールのアドバンスドボックスへの接続条件

- ・SMB プロトコルを使用 (IP アドレス: 127.0.0.1)
- ・アドバンスドボックスの認証機能を利用する場合: 「NTLMv2 認証」

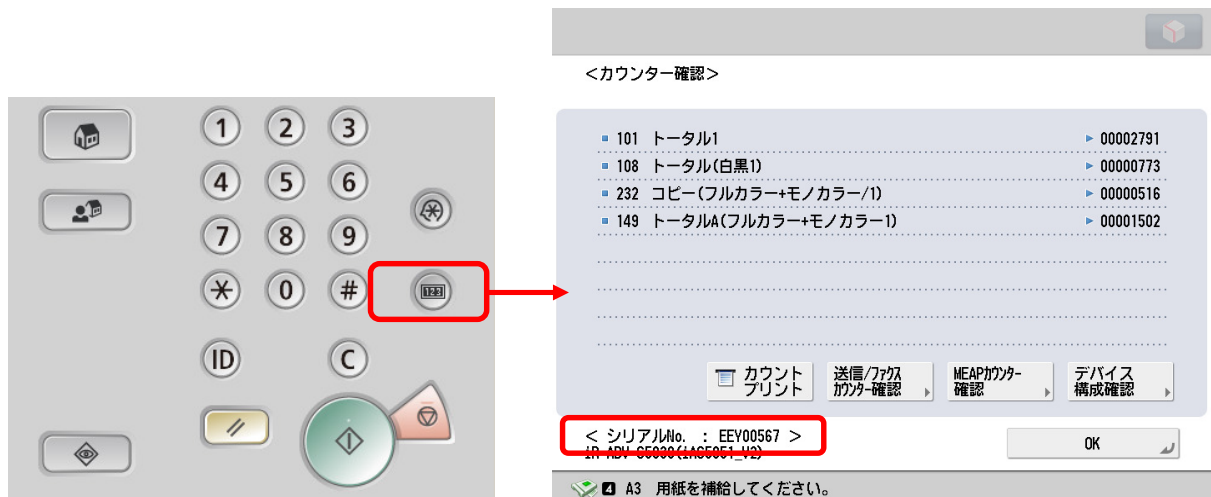
■アドバンスドボックスに保存できるファイル数の上限

- ・1フォルダーに格納できるファイル(フォルダー含む)数: 1,000 ファイル
※サブフォルダー以下のファイル数、フォルダー数はカウントされません。
- ・アドバンスドボックス全体で格納できるファイル数: 100,000 ファイル(フォルダー含む)

8 インストールの準備

■複合機のシリアル No.を確認

複合機の操作パネルで[123]キーを押して、表示されたシリアル No.をメモして下さい。
ライセンスファイル取得時にシリアル No.が必要になります。



■インストール時に必要なファイルとライセンスアクセス番号の入手

下表に記載されているURLの手順に従って、各データを手入して下さい。

名称	説明	入手方法
advbox_file_arrange.jar	アプリケーションファイル	以下のサイトからダウンロードして下さい。 http://cweb.canon.jp/drv-upd/ir-adv/file-arrange.html
ライセンスアクセス番号	4桁毎に - で区切られる16桁の英数字	アプリケーションファイルをダウンロードする際、表示される番号をメモして下さい。
licence.lic	ライセンスファイル	以下のサイトからダウンロードして下さい。 http://canon.com/meap ※複合機のシリアル No が必要です。 ※ライセンスアクセス番号が必要です。

※上記のファイル名は実際のものとは異なる場合があります。

■インストール用PCの準備

Webブラウザを利用できるPCが複合機とネットワーク接続されている必要があります。

9 アドバンスドボックスの設定

「ファイル自動整頓ツール」をインストールする前に、以下の手順でアドバンスドボックスの設定を実施して下さい。

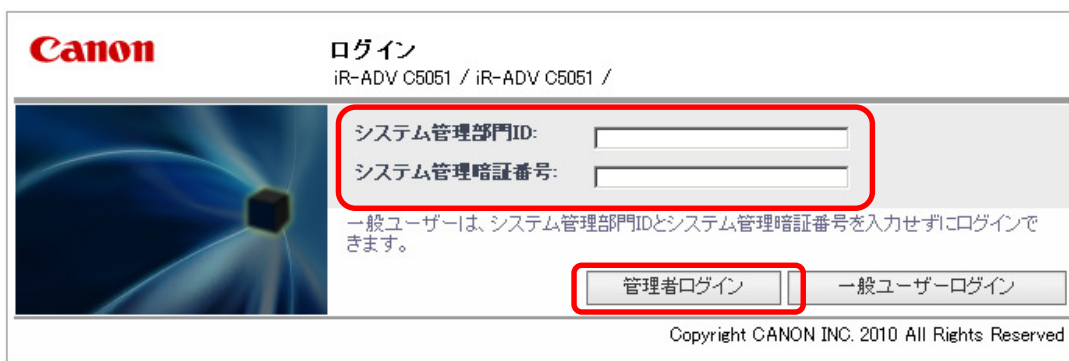
1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の管理用 Web ページ(リモート UI)へアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

2. ログイン画面で下記情報を入力し[管理者ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容
システム管理部門 ID	7654321 (初期値)
パスワード	7654321 (初期値)

※ログイン画面とパスワードは、お使いの環境によって異なりますので事前にご確認ください。



画面が表示されないときは・・・

- お使いの OS が Windows Server 2003 のようにセキュリティ強化が図られている場合、コンテンツのブロックが行われページにアクセスできません。その場合お使いの Internet Explorerにて「インターネットに信頼済みサイトとして登録する」必要があります。

ログインできないときは・・・

- Web ブラウザからログインを行うには「Java2 Runtime Environment Standard Edition 1.4 以上が PC にインストールされている」必要があります。
(インストールされていない場合は Sun Microsystems 社のサイトにて最新版の JavaVM(Virtual Machine)をインストールしてください。)
- ※Java2 Runtime Environment(以下 JRE)の不具合により、JRE6 Update4 及び、Update5 では正常に動作いたしません。最新版の JavaVM をインストールしてください。

3. 「設定/登録」ボタンを押します。



4. 「設定/登録」画面の「ネットワーク」-「SMB サーバー設定」を押します。



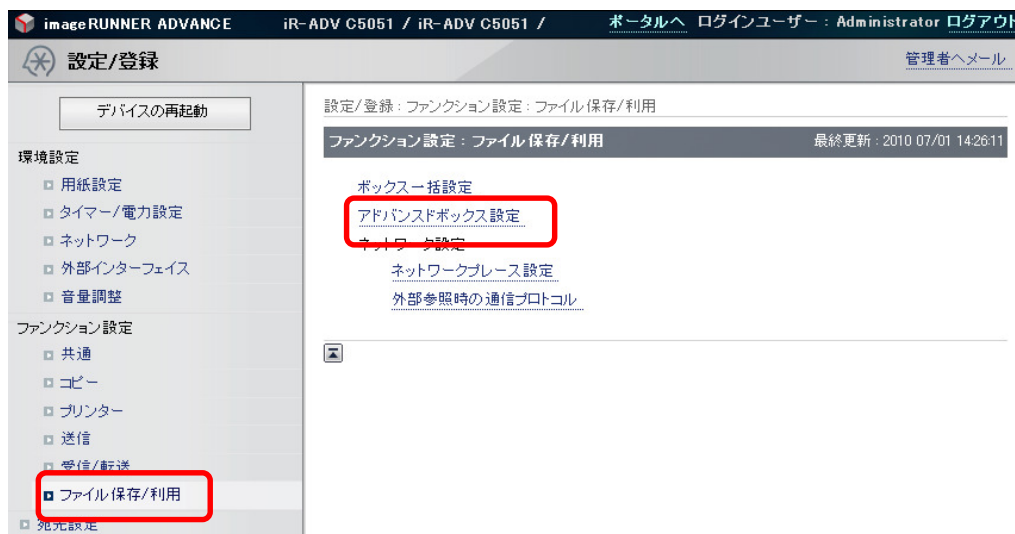
5. SMB サーバー設定は下表を参照に設定後、最後に[OK]ボタンを押します。

項目	内容
SMB サーバーを使用する	チェックボックスを有効にしてください。
サーバー名(全角入力可)	任意のサーバー名を入力して下さい。
ワークグループ名(全角入力可)	同一ネットワークの PC と同じワークグループ名を入力して下さい。
SMB 認証を使用	認証を使用する場合、有効にしてください。
認証タイプ	認証を使用する場合、「NTLMv2」を有効にしてください。

The screenshot shows the 'SMBサーバー設定' (SMB Server Settings) page in the imageRUNNER ADVANCE web interface. The page is titled 'SMBサーバー設定' and includes a '最終更新' (Last Updated) timestamp of '2010/12/15 15:28:11'. The page is divided into several sections: 'SMBサーバー設定', 'SMBプリンター設定', and 'SMB認証設定'. The 'SMBサーバー設定' section includes a checkbox for 'SMBサーバーを使用する' (checked), input fields for 'サーバー名(全角入力可):' (Canon2EC244) and 'ワークグループ名(全角入力可):' (WORKGROUP), and a 'コメント(全角入力可):' text area. The 'SMBプリンター設定' section includes a checkbox for 'SMB印刷を使用する' (unchecked) and an input field for 'プリンター名(全角入力可):' (PRINTER). The 'SMB認証設定' section includes a checkbox for 'SMB認証を使用' (checked) and a '認証タイプ:' section with checkboxes for 'NTLMv1' (checked) and 'NTLMv2' (checked). The page also features a sidebar with navigation links and a top bar with user information.

※アドバンスドボックスの認証機能をお使いにならない場合は、「SMB 認証を使用」のチェックは外してください。

6. 「ファンクション設定」-「ファイル保存/利用」-「アドバンスドボックス設定」を押して、「詳細設定」を行ないます。



7. 「詳細設定」は「外部公開設定: SMB で公開」に設定後、[OK]ボタンを押して最後に複合機の再起動を行います。



8. 複合機の再起動をします。

10 アドバンスドボックス接続用アカウントの作成

アドバンスドボックスへのアクセス先として個人フォルダーを利用する場合は、以下の手順に従って個人フォルダーを作成して頂く必要があります。

※個人フォルダーの作成はアドバンスドボックスへのアクセス時に SMB 認証を行う場合のみ可能です。

工場出荷時にアドバンスドボックスに接続できるユーザー名とパスワードは下表の通りです。

下表のアカウントをアドバンスドボックス接続用に利用する場合、アカウント作成手順は不要です。

項目	値
ユーザー名	Administrator
パスワード	password

※大文字と小文字を区別します。ユーザー名とパスワードは複合機の管理者にご確認ください。

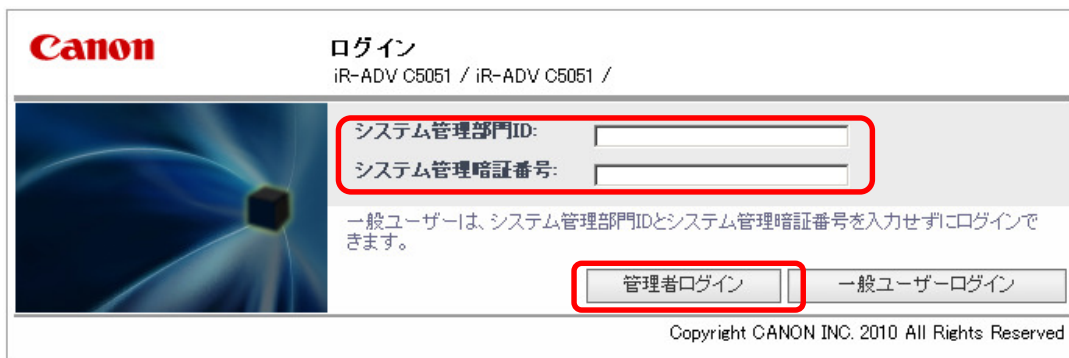
1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の管理用 Web ページ(リモート UI)へアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

2. ログイン画面で下記情報を入力し[管理者ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容
システム管理部門 ID	7654321
パスワード	7654321 (初期値)

※ログイン画面とパスワードは、お使いの環境によって異なりますので事前にご確認ください。



3. リモート UI の「アプリケーション」の「アドバンスドボックスのユーザー管理」をクリックします。

デバイス状況

プリンター： ● スリープ中です。

スキャナー： ● スリープ中です。

ファクス： ● ファクスできます。

エラー情報

エラーはありません

消耗品情報

給紙状況

用紙力セット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙力セット1	<div><div></div></div> 良好	A4	普通紙1 (64～81 g/m ²)
用紙力セット2	<div><div></div></div> 少ない	A4R	普通紙1 (64～81 g/m ²)
用紙力セット3	<div><div></div></div> 少ない	A4	普通紙1 (64～81 g/m ²)
用紙力セット4	<div><div></div></div> 良好	A3	普通紙1 (64～81 g/m ²)

トナー残量

アイテム名	残量
シアントナー残量：	<div><div></div></div> 良好
マゼンタナー残量：	<div><div></div></div> 良好
イエローナー残量：	<div><div></div></div> 良好
ブラックナー残量：	<div><div></div></div> 良好

設定/登録

アプリケーション

受信/保存ファイルの利用

アドレス帳

カスタムメニュー

アドバンスドボックスのユーザー管理

ダイレクトプリント

管理用アプリケーション

Service Management Service

User Setting Information Management Service

掲示板

システム管理者からのお知らせ：

サポートリンク

4. ログイン画面が表示されるので、下表のユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を押します。

項目	値
ユーザー名	Administrator ※大文字・小文字を区別します。
パスワード	password ※大文字・小文字を区別します。

※ログインできない場合、複合機の管理者にユーザー名とパスワードをご確認ください。

imageRUNNER ADVANCE

iR-ADV C7065 / iR-ADV C7065 /

[リモートUIへ](#)
[ログインユーザー：Administrator](#)
[ログアウト](#)

アドバンスドボックスのユーザー管理

ログイン

ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックしてください。

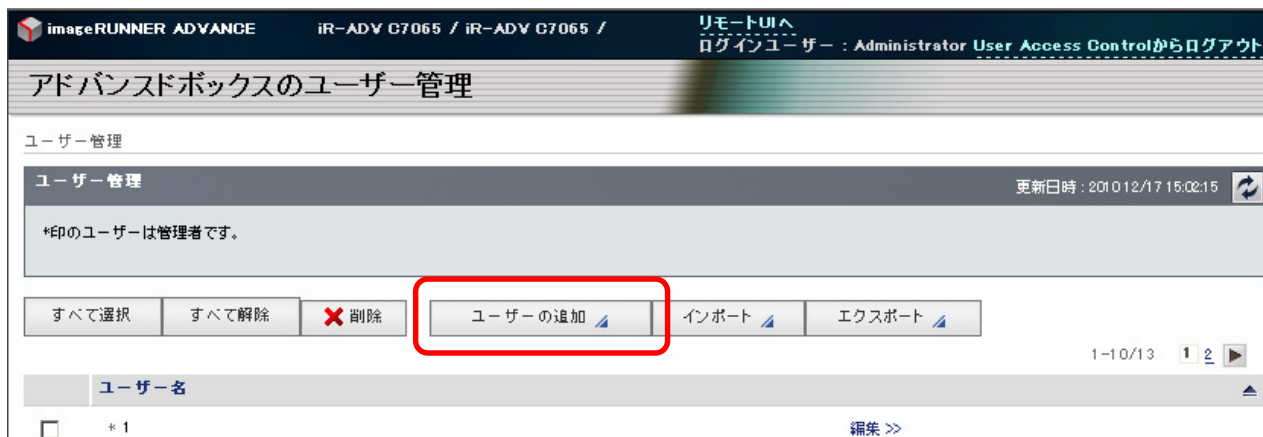
ユーザー名：

パスワード：

ログイン

Version 1.0.8.9 Copyright CANON INC. 2010 All Rights Reserved.

5. 「ユーザーの追加」を押します。



6. アドバンスドボックスに接続する為のアカウントを作成します。各設定項目を入力後、「追加」を押します。

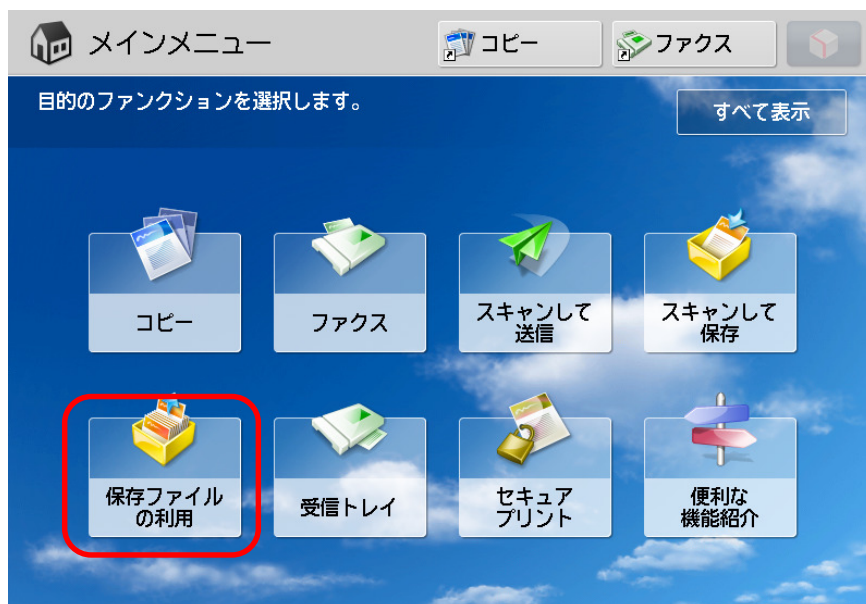
項目	値
ユーザー名	任意
パスワード	任意
確認入力	パスワードと同じ値
ユーザータイプ	管理者

アドバンスドボックス接続用アカウントの作成作業は以上となります。

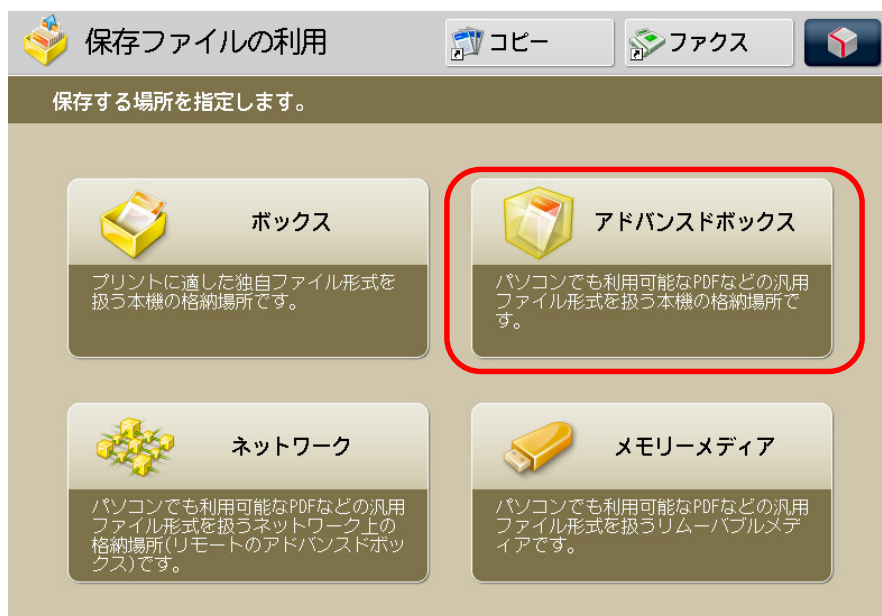
11 監視対象フォルダーのパスの確認

本ツールの監視対象となるフォルダーのパスは下記の手順で確認して下さい。

1. メインメニューから「保存ファイルの利用」を押します。



2. 「アドバンスドボックス」を押します。



3. <アドバンスドボックスへのログイン> 画面が表示されます。下表を参照してログインして下さい。

項目	値	
ユーザー名	Administrator	※大文字・小文字を区別します。
パスワード	password	※大文字・小文字を区別します。

※ログインできない場合、複合機の管理者にユーザー名とパスワードをご確認ください。

コピー
 ファクス

<アドバンスドボックスへのログイン>
ユーザー名とパスワードを入力します。

操作が終了したら、必ずログアウトしてください。

ユーザー名

パスワード

4. 「共有スペース」をクリックします。

保存ファイルの利用
 コピー
 ファクス

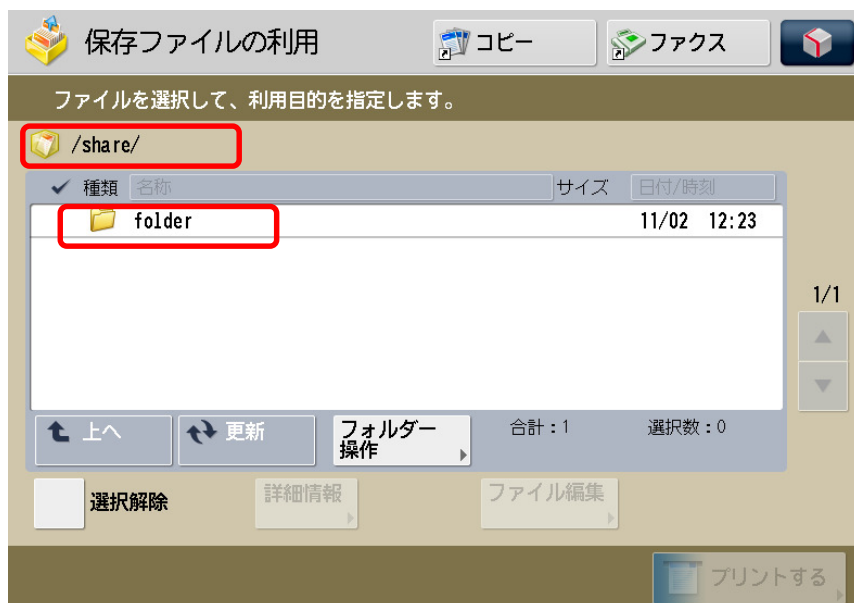
利用するファイルの場所を選択します。

アドバンスドボックス

種類	名称
	共有スペース
	個人スペース

※ここでは「共有スペース」内のファイルを監視対象フォルダーに設定する場合の手順を記載します。
個人スペースを監視対象フォルダーに設定する場合は個人スペースを選択して下さい。

5. フォルダー名をメモします。監視対象フォルダーを設定する際に必要です。



※ここでは「共有スペース」直下の「Folder」を監視対象フォルダーに設定する場合の手順を記載します。

以上でインストールの準備は完了です。続けてファイル自動整頓ツールのインストールを実施してください。

12 ファイル自動整頓ツールのインストール

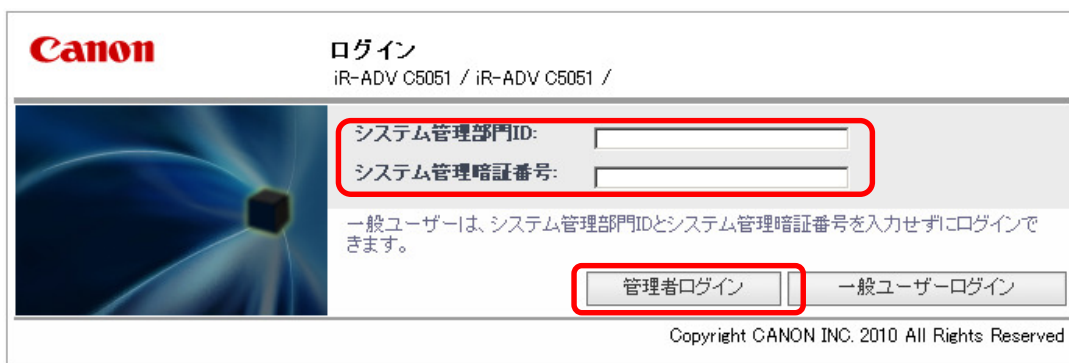
1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の管理用 Web ページ(リモート UI)へアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

2. ログイン画面で下記情報を入力し[管理者ログイン]ボタンを押すと、リモート UI のページが表示されます。

項目	内容
システム管理部門 ID	7654321
パスワード	7654321 (初期値)

※ログイン画面とパスワードは、お使いの環境によって異なりますので事前にご確認ください。



Canon ログイン
iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 /

システム管理部門ID:
システム管理暗証番号:

一般ユーザーは、システム管理部門IDとシステム管理暗証番号を入力せずにログインできます。

Copyright CANON INC. 2010 All Rights Reserved

3. リモート UI の画面 右下の「Service Management Service」をクリックします。

デバイス状況

プリンター： ● スリープ中です。

スキャナー： ● スリープ中です。

ファクス： ● ファクスできます。

エラー情報

エラーはありません

消耗品情報

給紙状況

用紙カセット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙カセット1	<div><div></div></div> 良好	A4	普通紙1 (64～81 g/m2)
用紙カセット2	<div><div></div></div> 少ない	A4R	普通紙1 (64～81 g/m2)
用紙カセット3	<div><div></div></div> 少ない	A4	普通紙1 (64～81 g/m2)
用紙カセット4	<div><div></div></div> 良好	A3	普通紙1 (64～81 g/m2)

トナー残量

アイテム名	残量
シアントナー残量：	<div><div></div></div> 良好
マゼンタナー残量：	<div><div></div></div> 良好
イエローナー残量：	<div><div></div></div> 良好
ブラックナー残量：	<div><div></div></div> 良好

掲示板

システム管理者からのお知らせ：

サポートリンク

設定/登録

アプリケーション

受信/保存ファイルの利用

アドレス帳

カスタムメニュー

アドバンスドボックスのユーザー管理

ダイレクトプリント

管理用アプリケーション

Service Management Service

User Setting Information Management Service

4. SMS のログイン画面が表示されます。以下の通りパスワードを入力し、[ログイン]ボタンを押します。

パスワード	MeapSmsLogin	※大文字小文字を区別します
-------	--------------	---------------

※上記の工場出荷時パスワードでログインできない場合、管理者にパスワードをご確認ください。

imageRUNNER ADVANCE
iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 /
Remote UIへ

Service Management Service
Language : Japanese

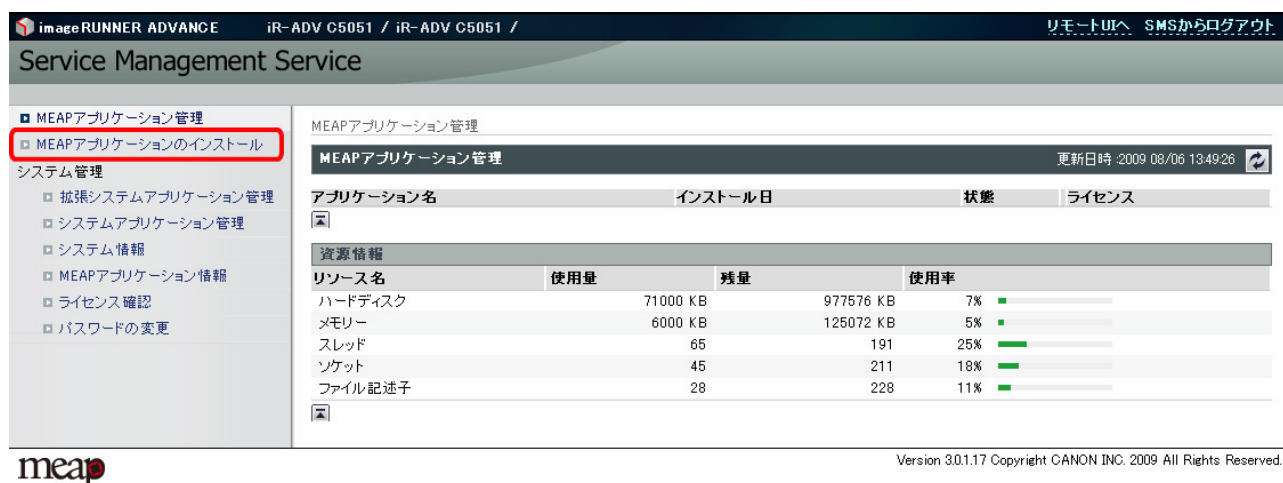
ログイン

パスワードを入力してください。

パスワード：

Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

5. ログインに成功すると、以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、画面左部の「MEAP アプリケーションのインストール」を押してください。



imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

- MEAPアプリケーション管理
 - MEAPアプリケーションのインストール**
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更

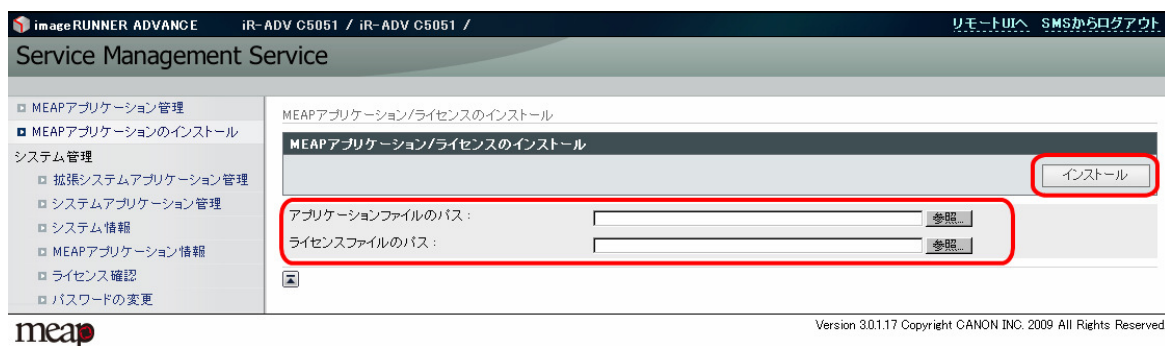
MEAPアプリケーション管理 更新日時: 2009/08/06 13:49:26

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
[アイコン]			

資源情報			
リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	71000 KB	977576 KB	7%
メモリー	6000 KB	125072 KB	5%
スレッド	65	191	25%
ソケット	45	211	18%
ファイル記述子	28	228	11%

meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

6. 以下の「MEAP アプリケーション/ライセンスのインストール」画面が表示されます。お持ちのアプリケーションファイル(拡張子「jar」)と、事前に入手したライセンスファイル(拡張子「lic」)を「参照...」ボタンよりそれぞれ選択し、「インストール」ボタンを押してください。



imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

- MEAPアプリケーション管理
 - MEAPアプリケーションのインストール**
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更

MEAPアプリケーション/ライセンスのインストール

MEAPアプリケーション/ライセンスのインストール

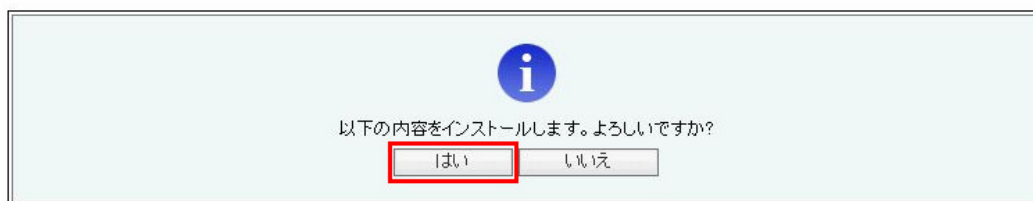
アプリケーションファイルのパス: [] 参照...

ライセンスファイルのパス: [] 参照...

[インストール]

meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

7. 以下の「確認画面」が表示されます。内容を確認し、[はい]ボタンを押して続行します。
(以下、実際の製品は製品バージョン等下記の内容と異なる場合があります。)



アプリケーション情報	
アプリケーション名:	File Arrange Tool
製品バージョン:	1.0.0
アプリケーションID:	b53ab47b-0128-1000-81fa-00e000c4ae6f
製造会社:	Canon Marketing Japan Inc.
Copyright:	Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010
説明:	File Arrange Tool 1.0.0.20100713

8. 「MEAP アプリケーション管理」画面の[アプリケーション名]に「File Arrange Tool」が表示されていることを確認し、[開始]ボタンを押します。

The screenshot shows the "Service Management Service" interface. On the left is a navigation menu with options like "MEAPアプリケーション管理" and "システム管理". The main area is titled "MEAPアプリケーション管理" and contains a table of installed applications. The table has columns for "アプリケーション名", "インストール日", "状態", and "ライセンス". One application, "File Arrange Tool", is listed with version 1.0.0, installed on 2010/06/29, and status "インストール済み". The "開始" (Start) button for this application is highlighted with a red rectangle. Below the table is a "資源情報" (Resource Information) section showing usage and remaining space for various components like Hard Disk, Memory, and Network.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	2010/06/29	インストール済み	開始 アンインストール 不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	6500 KB	124572 KB	5%
スレッド	65	191	25%
ソケット	45	211	18%
ファイル記述子	28	228	11%

9. 「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」と表示されていることを確認してください。



The screenshot displays the 'Service Management Service' interface. On the left is a navigation menu with options like 'MEAPアプリケーション管理' and 'システム管理'. The main area is titled 'MEAPアプリケーション管理' and shows a table of installed applications. The 'File Arrange Tool' is listed with version '1.0.0' and installed on '2010 06/29'. Its status is '開始' (Started), which is highlighted with a red box. Other buttons like '停止' (Stop), 'アンインストール' (Uninstall), and '不要' (Not needed) are visible. Below the application list is a '資源情報' (Resource Information) section with a table showing usage and remaining space for various resources.

アプリケーション名	バージョン	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.0.0	2010 06/29	開始	不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	16500 KB	114572 KB	13%
スレッド	75	181	29%
ソケット	55	201	21%
ファイル記述子	38	218	15%

以上で、複合機への「ファイル自動整頓ツール」のインストール作業は終了です。

13 ファイル自動整頓ツールの設定

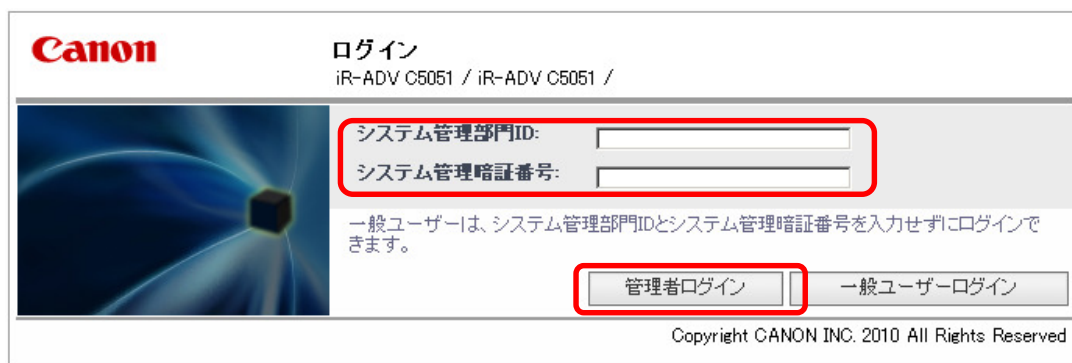
1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の管理用 Web ページ(リモート UI)へアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

2. ログイン画面で下記情報を入力し[管理者ログイン]ボタンを押します。

項目	内容
システム管理部門 ID	7654321
パスワード	7654321 (初期値)

※ログイン画面とパスワードは、お使いの環境によって異なりますので事前にご確認ください。



Canon ログイン
iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 /

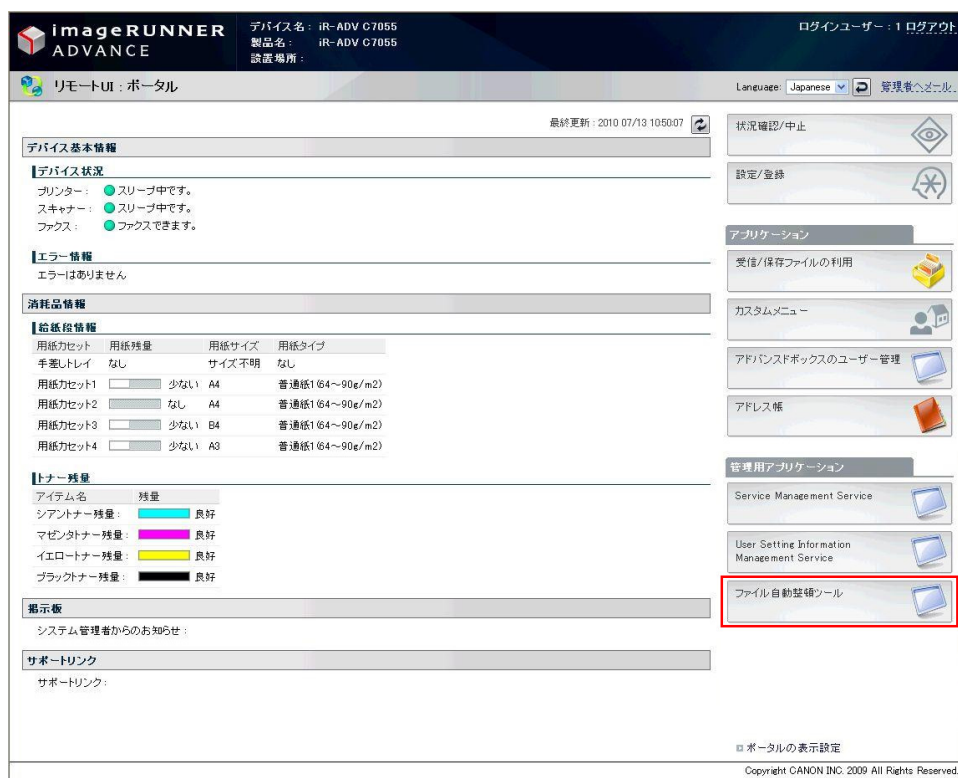
システム管理部門ID:
システム管理暗証番号:

一般ユーザーは、システム管理部門IDとシステム管理暗証番号を入力せずにログインできます。

管理者ログイン 一般ユーザーログイン

Copyright CANON INC. 2010 All Rights Reserved

3. 「管理用アプリケーション」から[ファイル自動整頓ツール]ボタンを押すと、ファイル自動整頓ツールの管理者設定ページが表示されます。



imageRUNNER ADVANCE デバイス名: iR-ADV C7055 製品名: iR-ADV C7055 ログインユーザー: 1 ログアウト
設定権限:

リモートUI: ポータル Language: Japanese 管理権限: 管理権限

最終更新: 2010/07/13 10:50:07

デバイス基本情報

デバイス状況

プリンター: ● スリープ中です。
スキャナー: ● スリープ中です。
ファクス: ● ファクスできます。

エラー情報

エラーはありません

消耗品情報

給紙状況

用紙カセット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙カセット1	少ない	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙カセット2	なし	A4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙カセット3	少ない	B4	普通紙1 (64~90g/m2)
用紙カセット4	少ない	A3	普通紙1 (64~90g/m2)

トナー残量

アイテム名	残量
シアントナー残量:	良好
マゼンタトナー残量:	良好
イエロートナー残量:	良好
ブラックトナー残量:	良好

掲示板

システム管理者からのお知らせ:

サポートリンク

サポートリンク:

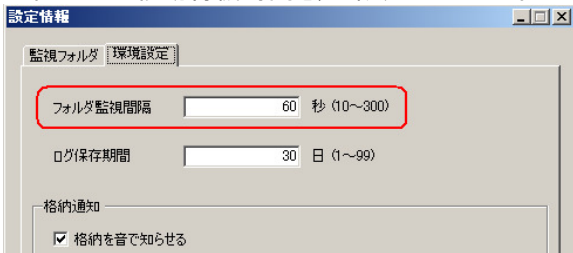
管理用アプリケーション

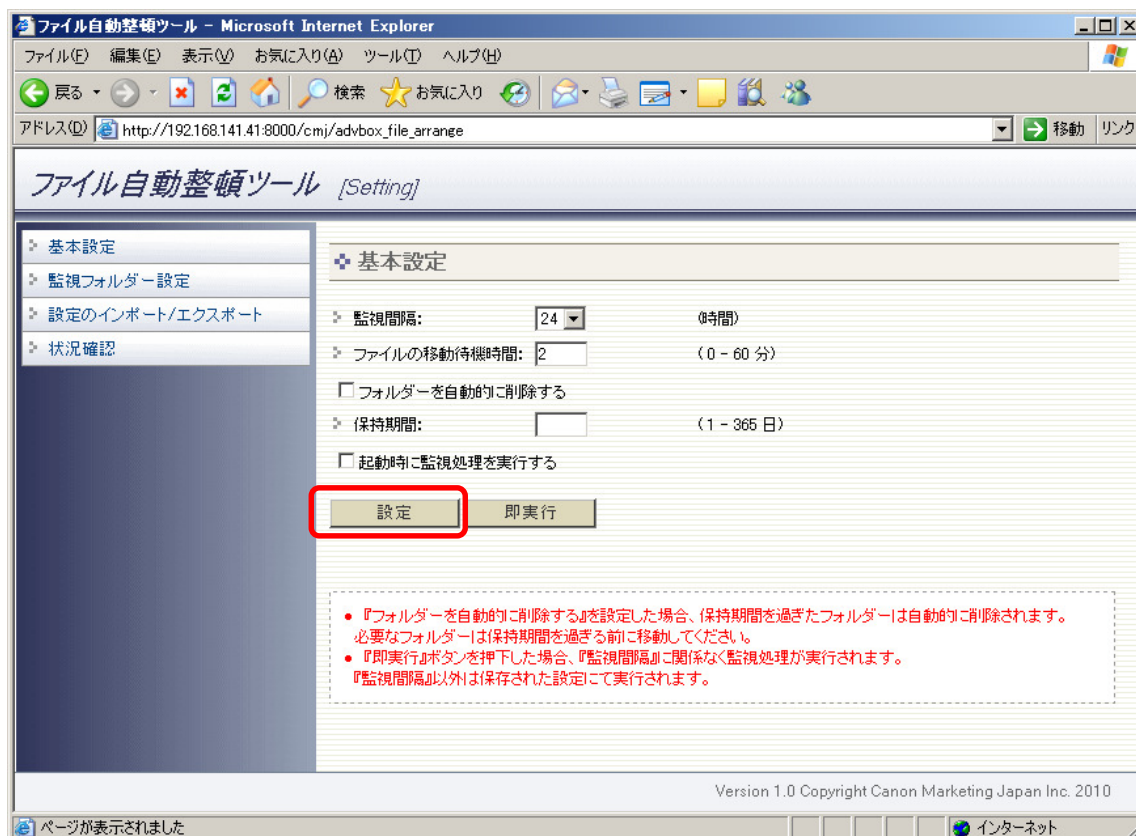
Service Management Service
User Setting Information Management Service
ファイル自動整頓ツール

ポータルの表示設定

Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

4. 「基本設定」画面が表示されます。以下の設定項目を入力し、[設定]ボタンを押します。

設定項目	説明	初期値	入力値/選択値
監視間隔	フォルダー監視処理を実行する間隔を設定します。 デフォルトは毎日深夜 0 時の監視を行いません。 1 日に 1,000 ファイル以上格納される場合は監視間隔を短く設定して下さい。	24	3, 6, 12, 24 (時間)
ファイルの移動待機時間	ファイルの移動処理を待機する時間(分)を設定します。 ファイル格納通知ツールと併用する場合、本ツールの監視処理との競合により、通知の前にファイルが移動される可能性があります。その場合はファイル格納通知ツールの「フォルダ監視間隔」よりも本ツールの移動待機時間を長く設定して下さい。 	2	0 - 60(分)
フォルダーを自動的に削除する	一定期間経過したフォルダーを削除するかどうかを設定します。チェックボックスが ON の場合は保持期間の入力フィールドが入力可能となります。OFF の場合は保持期間の入力フィールドが入力不可となります。	OFF	ON/OFF
保持期間	本ツールにより移動されたファイルを保持する期間を設定します。「フォルダーを自動的に削除する」チェックボックスが ON の場合に本設定が有効となります。	90	1 - 365(日)
起動時に監視処理を実行する	複合機の再起動時に監視処理を自動的に即実行するか否かを設定します。	OFF	ON/OFF



5. 「監視フォルダー設定」を押して、監視フォルダー設定を行ないます。
※SMB 認証を利用する場合、「フォルダー監視時に認証管理を行う」にチェックを入れます。

ファイル自動整頓ツール [Setting]

リモートURL

基本設定

監視フォルダー設定

設定のインポート/エクスポート

状況確認

監視フォルダー設定

・『監視フォルダーパス』には以下の例を参考に、アドバンスドボックスのフォルダーに対するパスを設定してください。

個人スペース	user\$公開フォルダー名フォルダー名
共有スペース	share\$フォルダー名

※個人スペースの「公開フォルダー名」は、ユーザー名が初期値として設定されています。

・『ユーザー名』/パスワードは、「アドバンスドボックスのユーザー管理」で登録したユーザーアカウントを設定してください。

全般

☒ フォルダー監視時に認証管理を行う

☐ フォルダー1:

☐ フォルダー2:

☐ フォルダー3:

☐ フォルダー4:

☐ フォルダー5:

☐ フォルダー6:

☐ フォルダー7:

☐ フォルダー8:

☐ フォルダー9:

☐ フォルダー10:

設定

Version 1.3 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2014

6. 赤枠の部分(フォルダー1:)を押して下さい。フォルダー1の設定画面が表示されます。

<input type="checkbox"/> フォルダー1:	
監視フォルダー	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="接続確認"/>	
<input type="checkbox"/> フォルダー2:	

7. 各設定項目を入力し、[接続確認]ボタンを押します。接続に成功すると「接続に成功しました」と表示されます。監視対象フォルダーを複数設定する場合は同様の手順でフォルダー2～10まで設定して下さい。

設定項目	説明
フォルダー(チェックボックス)	このチェックボックスにより監視するか否かを設定します。
監視フォルダー	監視対象とするアドバンスドボックスのフォルダーに対するパスを設定します。
ユーザー名	アドバンスドボックスにアクセスするユーザー名を設定します。 ※SMB 認証利用時
パスワード	アドバンスドボックスにアクセスするユーザーのパスワードを設定します。 ※SMB 認証利用時

※監視フォルダーのパスとユーザー名は事前に確認した内容を入力してください。

☒ フォルダー1:

☐ 監視フォルダー

☐ ユーザー名

☐ パスワード

◆監視フォルダーについて

監視フォルダーは個人スペース(users)及び共有スペース(share)のパスを設定することができます。入力例は以下の通りです。

<監視フォルダー入力例>

個人スペース	users¥[公開フォルダー名]¥[フォルダー名]...
共有スペース	share¥[フォルダー名]...

※監視により移動される対象ファイルは監視フォルダーに設定した直下のファイルのみです。監視フォルダーに設定したパス配下のサブフォルダーは監視対象となりません。

8. 「接続に成功しました」表示後、「設定ボタン」を押してください。各監視フォルダーの設定項目に入力した設定値が設定ファイルに保存され、次回監視実行時から、変更された内容で監視処理が実行されます。

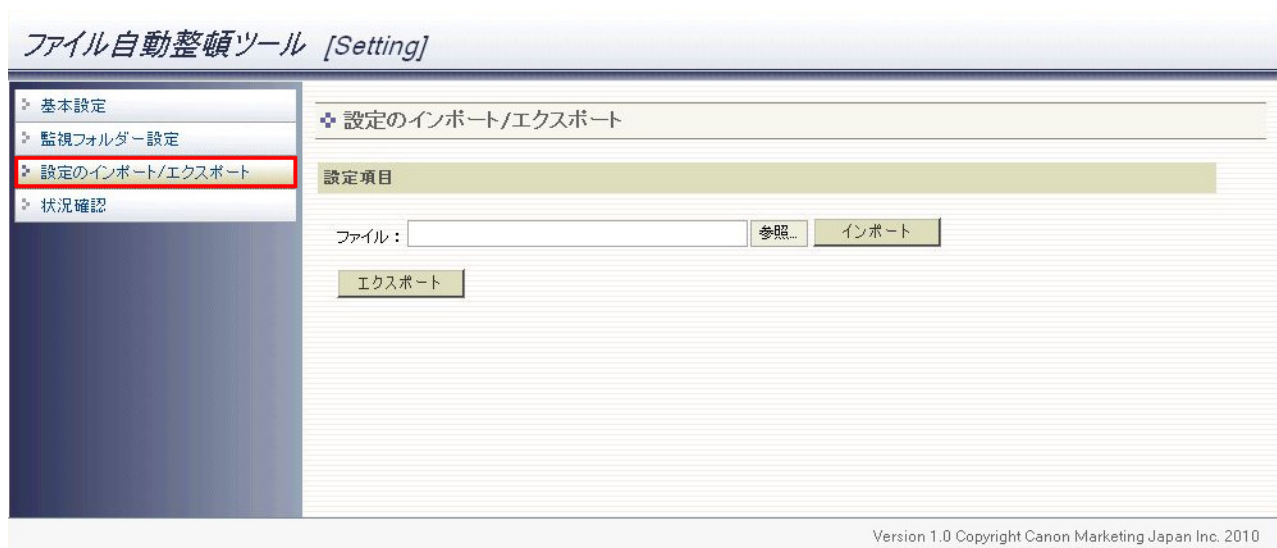
設定項目	設定値
フォルダー3:	<input checked="" type="checkbox"/>
フォルダー4:	<input checked="" type="checkbox"/>
フォルダー5:	<input checked="" type="checkbox"/>
フォルダー6:	<input type="checkbox"/>
フォルダー7:	<input type="checkbox"/>
フォルダー8:	<input type="checkbox"/>
フォルダー9:	<input type="checkbox"/>
フォルダー10:	<input type="checkbox"/>

設定

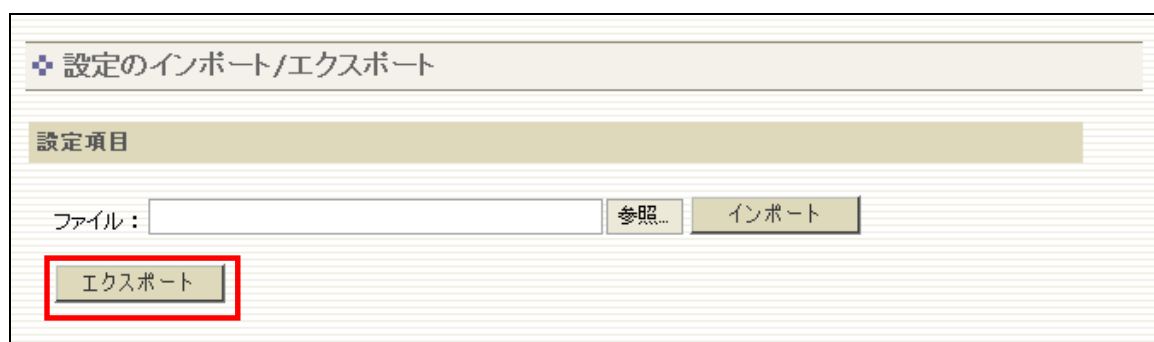
ファイル自動整頓ツールの設定は以上となります。

14 設定のインポート/エクスポート

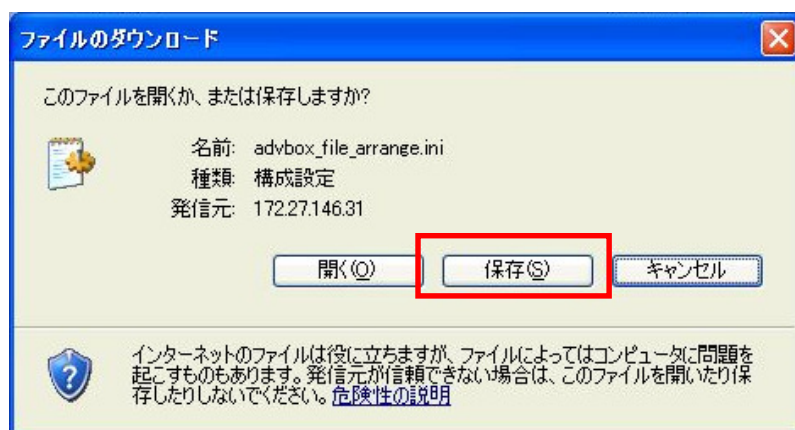
本ツールの設定項目をエクスポートし、ファイルを編集してインポートすることで設定項目を一括設定できます。
また、複数の複合機に対して、同一内容での設定を容易に行うことができます。



■ 設定項目のエクスポート



[エクスポート]ボタンを押します。現在設定されている内容を「advbox_file_arrange.ini」ファイルとして保存します。



■設定項目のインポート

設定のインポート/エクスポート

設定ファイルをインポートしました

設定項目

ファイル : c:\advbox_file_arrange.ini

参照... インポート

エクスポート

1. [参照]ボタンを押して設定したい内容の「advbox_file_arrange.ini」ファイルを選択し、「インポート」ボタンを押します。
2. 正常にインポートが完了すると、画面上部に保存完了のメッセージが表示されます。

※監視処理実行中に設定変更を行った場合は次回監視処理から有効となります。

15 状況確認

メニューの「状況確認」を押すことにより監視処理の状況を確認できます。ファイルが移動された件数の表示、監視処理でエラーが発生した場合に一覧にエラー内容が表示されます。エラーは最新の5件のみ画面に表示されます。最新5件以外のエラーやエラー内容の詳細についてはログエクスポートにてログを確認してください。

ファイル自動整頓ツール [Setting]

基本設定
監視フォルダー設定
設定のインポート/エクスポート
状況確認

状況確認

昨日の移動ファイル数: 37 件
今日の移動ファイル数: 29 件

結果	処理日時	監視フォルダー	ファイル名	ファイル作成日時	内容
ERR	2010/07/12 18:11:12				監視フォルダー情報の取得に失敗しました

クリア

ログエクスポート

エクスポートするファイル: Log0.txt

エクスポート

Version 1.0 Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010

状況確認画面に表示される項目は以下となります。

項目	内容
昨日の移動ファイル数	昨日分の移動ファイル数を表示します。
今日の移動ファイル数	本日分の移動ファイル数を表示します。
結果	移動に失敗した際の失敗の種別を表示します。
処理日時	移動処理に失敗した日時を表示します。
監視フォルダー	移動処理に失敗した際の監視フォルダーを表示します。
ファイル名	移動処理に失敗したファイルの名称を表示します。
ファイル作成日時	移動処理に失敗したファイルの作成日時を表示します。
内容	移動処理の失敗内容を表示します。
クリアボタン	ファイル移動処理ログをクリアします。

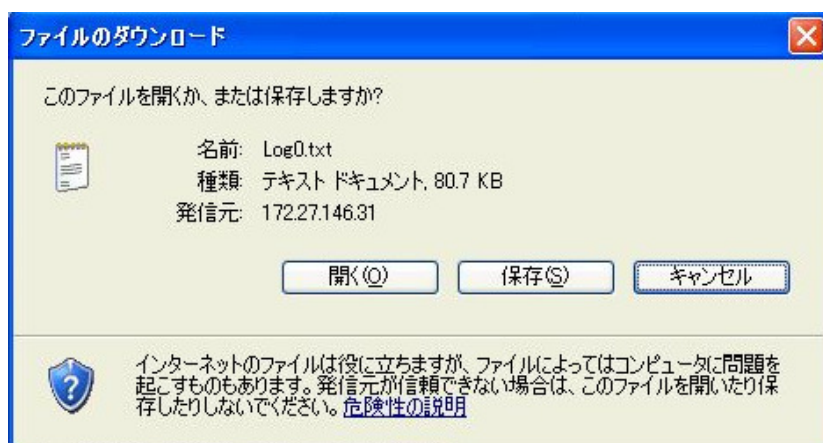
クリアボタンを押すことにより一覧に表示されている最新5件分のエラー表示がクリアされます。昨日の移動ファイル数、今日の移動ファイル数、並びにログファイルについてはクリアされません。

16 ログエクスポート

メニューの「状況確認」から「エクスポート」を押す事でファイル自動整頓ツールの動作ログをエクスポートできます。トラブル発生時には、動作ログの取得を実施する事で原因調査に役立ってます。



1. 「エクスポートするファイル」でリストからエクスポートするファイルを選択します。
2. [エクスポート] ボタンを押します。
3. 以下のようなダイアログが表示されますので、ダイアログの[保存]ボタンを押して任意の場所に保存してください。



17 ファイル自動整頓ツールのアンインストール

ここでは、「ファイル自動整頓ツール」を複合機からアンインストールする手順を説明します。

アンインストールを実施する前に、必要に応じて以下のデータをエクスポートしてください。

- ① ログファイル(状況確認画面よりエクスポート)
- ② 設定項目ファイル(設定のインポート／エクスポート画面よりエクスポート)

※ ファイル自動整頓ツールをアンインストールすると上記データはすべて消去されますので、必要な場合は必ずアンインストール前にエクスポートを行ってください。

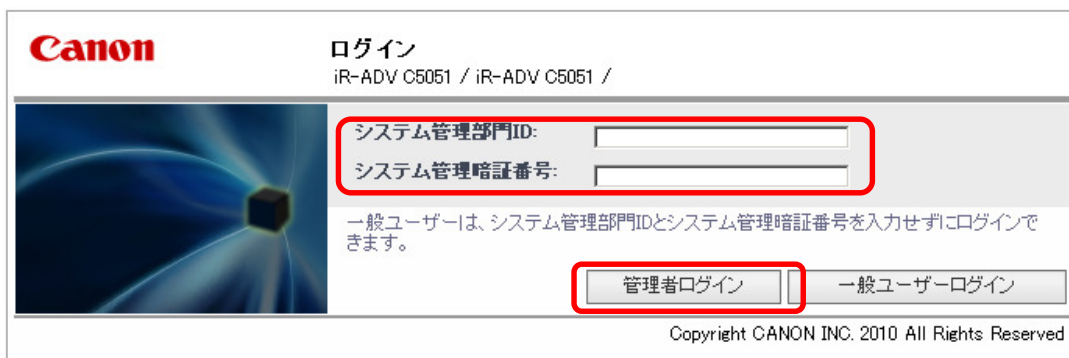
1. Web ブラウザを立ち上げ、複合機の管理用 Web ページ(リモート UI)の以下 URL へアクセスします。

「http://複合機の IP アドレス」

2. ログイン画面で下記情報を入力し[管理者ログイン]ボタンを押して下さい。

項目	内容
システム管理部門 ID	7654321
パスワード	7654321 (初期値)

※ログイン画面とパスワードは、お使いの環境によって異なりますので事前にご確認ください。



3. リモート UI の画面 右下の「Service Management Service」をクリックします。

デバイス状況

プリンター： ● スリープ中です。

スキャナー： ● スリープ中です。

ファクス： ● ファクスできます。

エラー情報

エラーはありません

消耗品情報

給紙状況

用紙カセット	用紙残量	用紙サイズ	用紙タイプ
手差しトレイ	なし	サイズ不明	なし
用紙カセット1	<div style="width: 80%;"></div> 良好	A4	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙カセット2	<div style="width: 20%;"></div> 少ない	A4R	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙カセット3	<div style="width: 20%;"></div> 少ない	A4	普通紙1 (64~81g/m2)
用紙カセット4	<div style="width: 80%;"></div> 良好	A3	普通紙1 (64~81g/m2)

トナー残量

アイテム名	残量
シアントナー残量	<div style="width: 80%;"></div> 良好
マゼンタナー残量	<div style="width: 80%;"></div> 良好
イエローナー残量	<div style="width: 80%;"></div> 良好
ブラックナー残量	<div style="width: 80%;"></div> 良好

掲示板

システム管理者からのお知らせ：

サポートリンク

設定/登録

アプリケーション

受信/保存ファイルの利用

アドレス帳

カスタムメニュー

アドバンスドボックスのユーザー管理

ダイレクトプリント

管理用アプリケーション

Service Management Service

User Setting Information Management Service

4. SMS のログイン画面が表示されます。以下の通りパスワードを入力し、[ログイン]ボタンを押します。

パスワード	MeapSmsLogin	※大文字小文字を区別します
-------	--------------	---------------

※上記の工場出荷時パスワードでログインできない場合、管理者にパスワードをご確認ください。

imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 /
リモートUIへ

Service Management Service

Language: Japanese

ログイン

パスワードを入力してください。

パスワード：

Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

5. 以下の「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されますので、「File Arrange Tool」の「状態」が「開始」の場合には[停止]ボタンを押してアプリケーションを停止させてください。

The screenshot shows the 'MEAP Application Management' page. On the left is a sidebar with navigation links. The main area has a table of installed applications. 'File Arrange Tool' is listed with status 'Start'. A red box highlights the 'Stop' button. Below the table is a resource usage section with a table and progress bars.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	2010 06/29	開始	不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	16500 KB	114572 KB	13%
スレッド	75	181	29%
ソケット	55	201	21%
ファイル記述子	38	218	15%

6. 「File Arrange Tool」の「状態」が「停止」であることを確認します。

7. 次に、ライセンスの削除を行います。「アプリケーション名」の「File Arrange Tool」のリンクを押してください。

This screenshot is similar to the previous one, but the status of 'File Arrange Tool' is now 'Stop'. A red box highlights the application name 'File Arrange Tool' in the table. The 'Stop' button is also highlighted with a red box. The resource usage table below shows updated values.

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	2010 07/13	停止	不要

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401041 KB	647535 KB	38%
メモリー	17929 KB	113143 KB	14%
スレッド	103	153	40%
ソケット	70	186	27%
ファイル記述子	50	206	20%

8. 「アプリケーション/ライセンス情報」画面が表示されます。[ライセンス管理]ボタンを押してください。

imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C7055 / iR-ADV C7055 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

MEAPアプリケーション管理

- MEAPアプリケーションのインストール
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更

MEAPアプリケーション管理 > アプリケーション/ライセンス情報

アプリケーション/ライセンス情報

認証情報の設定 戻る

アプリケーション情報

アプリケーション名:	File Arrange Tool
製品バージョン:	1.0.0
アプリケーションID:	b53ab47b-0128-1000-81fa-00e000c4ae6f
インストール日:	2010 06/29
説明:	File Arrange Tool 1.0.0.20100713
製造会社:	Canon Marketing Japan Inc.
Copyright:	Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2010
インポートパッケージ:	com.canon.meap.service.login com.canon.meap.service.sa javax.servlet.javax.servlet.http org.osgi.service.http com.canon.meap.service.http

資源使用状況

ハードディスク:	32 KB
メモリー:	1409 KB
スレッド:	6
ソケット:	4
ファイル記述子:	11

ライセンス情報

ライセンス管理

状態:	インストール済み
シリアルNo.:	
有効期間:	無期限

meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserve

9. 「ライセンス管理」画面が表示されますので、同画面の「ライセンスの無効化」から[無効化]ボタンを押してください。

imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

MEAPアプリケーション管理

- MEAPアプリケーションのインストール
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更

MEAPアプリケーション管理 > アプリケーション/ライセンス情報 > ライセンス管理

ライセンス管理

戻る

ライセンスのインストール

ライセンスファイルのパス: 参照

インストール

ライセンスの無効化

無効化

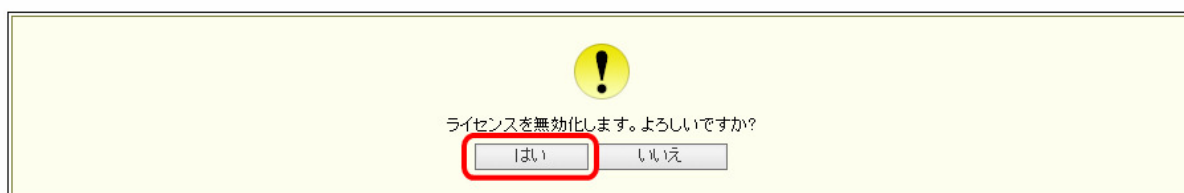
無効ライセンスファイルのダウンロード/削除

無効化したライセンスファイルは、削除する前にダウンロードすることをお勧めします。

ダウンロード 削除

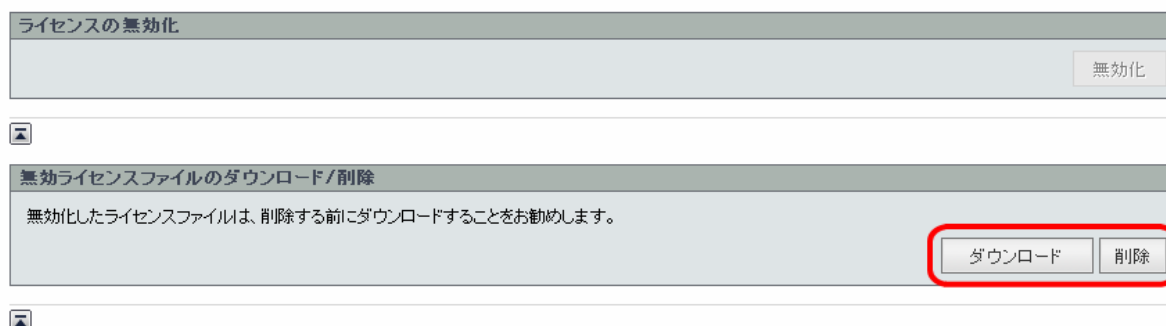
meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

10. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。

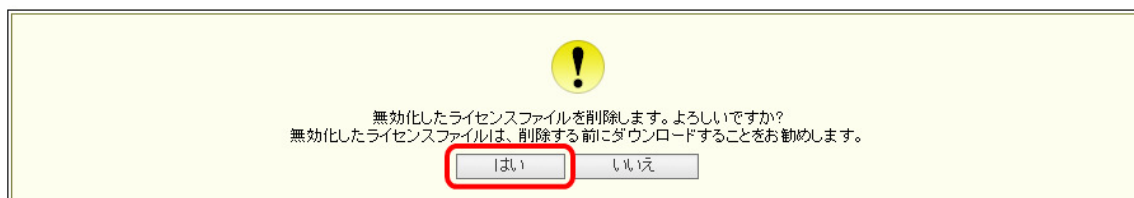


11. 「ライセンス管理」画面の「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[ダウンロード]ボタンを押して、ライセンスファイルをダウンロードしてください。

12. 次に、同画面で「無効ライセンスファイルのダウンロード/削除」から[削除]ボタンを押してください。
※[ダウンロード]ボタン、[削除]ボタンは、ライセンスの無効化後に押下可能となります。



13. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



14. [MEAP アプリケーション管理]を押します。「ライセンス」が「未インストール」であることを確認し、[アンインストール]ボタンを押してください。



imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C7055 / iR-ADV C7055 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

デバイスシリアルNo.:

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーション管理 更新日時: 2010/07/06 21:06:17

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.0.0 2010/06/29	停止	未インストール

開始 アンインストール

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	91000 KB	957576 KB	9%
メモリー	6000 KB	125072 KB	5%
スレッド	65	191	25%
ソケット	45	211	18%
ファイル記述子	28	228	11%

meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

15. 以下の「確認画面」が表示されます。[はい]ボタンを押してください。



16. 「MEAP アプリケーション管理」画面が表示されます。一覧から「File Arrange Tool」が消去されていることを確認してください。



imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C5051 / iR-ADV C5051 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

デバイスシリアルNo.: DZH00042

MEAPアプリケーション管理

MEAPアプリケーション管理 更新日時: 2009/08/06 13:49:26

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス

アンインストール

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	91000 KB	977576 KB	7%
メモリー	6000 KB	125072 KB	5%
スレッド	65	191	25%
ソケット	45	211	18%
ファイル記述子	28	228	11%

meap Version 3.0.1.17 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

以上で、アンインストール作業は終了です。

18 トラブルシューティング

■インストール時のトラブル

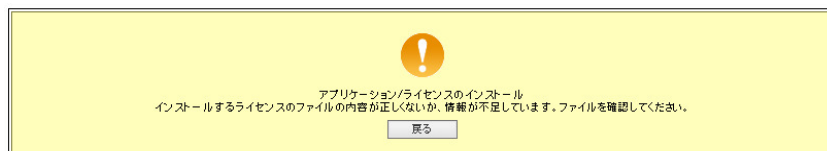
CASE1

MEAP アプリケーション/ライセンスのインストールで下記のエラー画面が表示されている。

エラーメッセージ

アプリケーション/ライセンスのインストール

インストールするライセンスのファイルの内容が正しくないか、情報が不足しています。ファイルを確認してください。



【原因】

- ・ ライセンスファイルの内容が正しくない可能性があります。

【対処方法】

- ・ 複合機の機番とライセンスファイルに記載されている機番が同じか確認して下さい。

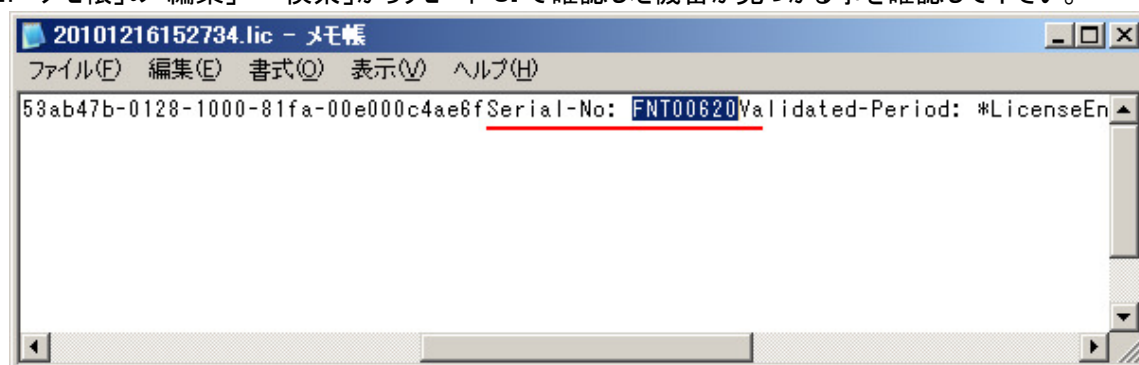
【複合機の機番確認方法】

リモート UI のトップ画面



【ライセンスファイルの機番確認方法】

1. 「メモ帳」でライセンスファイル「*****.lic」ファイルを開きます。
2. 「メモ帳」の「編集」→「検索」からリモート UI で確認した機番が見つかる事を確認して下さい。



※取得したライセンスファイルの機番が誤っていた場合、ライセンスファイルを取得し直して下さい。

■ 設定時のトラブル

1. 「リモート UI」→「SMS」→「MEAP アプリケーション管理」画面にて、「File Arrange Tool」が「開始」になっている事を確認して下さい。「停止」になっている場合、「開始」ボタンを押して下さい。

imageRUNNER ADVANCE iR-ADV C7055 / iR-ADV C7055 / リモートUIへ SMSからログアウト

Service Management Service

デバイスシリアルNo.:

- MEAPアプリケーション管理
- MEAPアプリケーションのインストール
- システム管理
 - 拡張システムアプリケーション管理
 - システムアプリケーション管理
 - システム情報
 - MEAPアプリケーション情報
 - ライセンス確認
 - パスワードの変更

MEAPアプリケーション管理

更新日時: 2010/06/29 18:47:48

アプリケーション名	インストール日	状態	ライセンス
File Arrange Tool	1.0.0	2010/06/29 開始	停止 アンインストール 不要

資源情報

リソース名	使用量	残量	使用率
ハードディスク	401009 KB	647567 KB	38%
メモリー	16500 KB	114572 KB	13%
スレッド	75	181	29%
ソケット	55	201	21%
ファイル記述子	38	218	15%

Version 3.0.1.37 Copyright CANON INC. 2009 All Rights Reserved.

2. 「リモート UI」→「ファイル自動整頓ツール」→「監視フォルダー設定」から「接続確認」を行ないます。

監視対象のフォルダーのチェックが有効な状態でエラー表示されている場合、下記について確認して下さい。

監視フォルダー設定

- 『監視フォルダーパス』は以下の例を参考に、アドバンスドボックスのフォルダーに対するパスを設定してください。

個人スペース	users%公開フォルダー名%フォルダー名
共有スペース	share%フォルダー名

※個人スペースの「公開フォルダー名」は、ユーザー名が初期値として設定されています。
- 『ユーザー名』『パスワード』は、「アドバンスドボックスのユーザー管理」で登録したユーザーアカウントを設定してください。

☒ フォルダー1:

- 監視フォルダー: share%test
- ユーザー名: Administrator
- パスワード:

接続確認 接続に失敗しました

以下のエラーメッセージがダイアログで表示された場合、原因の内容に従って対応を行なって下さい。

■入力規則に従っていない場合のエラーパターン

エラーメッセージ	原因
監視フォルダーパスを指定してください	フォルダーチェックボックスが ON で、監視フォルダーが設定されていません
監視フォルダーパスに使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、監視フォルダーパスに/*?<> の禁止文字が設定されています
ユーザー名を指定してください	フォルダーチェックボックスが ON で、ユーザー名が設定されていません
ユーザー名に使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、ユーザー名に半角英数記号以外が指定されています
パスワードに使用できない文字が含まれています	フォルダーチェックボックスが ON で、パスワードに全角文字 半角カナ文字 が指定されています

■上記の入力規則に従っているが「接続に失敗しました」と表示される場合

- 「SMB サーバーを使用」が有効になっていない。
- 「SMB 認証タイプ」の「NTLMv2」が有効になっていない。
- アドバンスドボックスの外部公開設定が「SMB で公開」になっていない。
- アドバンスドボックスに接続用のユーザーアカウントがない。またはパスワードを間違えて登録している。

【対処方法】

- ・ 本マニュアルの設定手順に従って、設定が正しく行われているか確認してください。

◆参照ページ

- ・アドバンスドボックスの設定(P.15)
- ・アドバンスドボックス接続用アカウントの作成(P.19)
- ・監視対象フォルダーのパスの確認(P.22)

- ・ 入力規則に従って入力してください。
- ・ 管理者・利用者に確認後、複合機の再起動を行なってください。

各監視フォルダーの接続確認が成功したら、最後に[設定]ボタンを押します。

■運用開始後のトラブル

CASE1

状況確認画面に以下のエラーが表示されている。

監視フォルダー情報の取得に失敗

✦ 状況確認					
昨日の移動ファイル数： 1 件					
今日の移動ファイル数： 0 件					
結果	処理日時	監視フォルダー	ファイル名	ファイル作成日時	内容
ERR	2010/12/27 18:57:44				監視フォルダー情報の取得に失敗しました

クリア

【原因】

- ・ 監視対象フォルダーにファイル 又は フォルダーが一つも存在しない場合、エラーが表示されます。
- ・ アドバンスドボックスに接続できない。
- ・ 監視フォルダーパスが存在しない。

【対処方法】

- ・ 監視対象フォルダー内にファイル 又は フォルダーが一つもない場合、エラーが表示されます。
次回監視処理のタイミングまでに受信 FAX 転送先として監視対象フォルダーにファイルが格納される状況になっているかご確認下さい。
- ・ フォルダー監視設定を確認し、接続確認を行ってください。
- ・ 該当の監視フォルダーが存在するか確認してください。

◆参照ページ

- ・ 監視対象フォルダーのパスの確認 P.22 参照

CASE2

状況確認画面に以下のエラーが表示されている。

アドバンスドボックスに接続できていない

【原因】

- 「SMB サーバーを使用」が有効になっていない。
- 「SMB 認証タイプ」の「NTLMv2」が有効になっていない。
- アドバンスドボックスの外部公開設定が「SMB で公開」になっていない。
- アドバンスドボックスに接続用のユーザーアカウントがない。またはパスワードを間違えて登録している。

【対策】

- ・ アドバンスドボックスの設定が正しく行われているか確認をしてください。

◆ 参照ページ

- ・ アドバンスドボックスの設定(P.15)
 - ・ アドバンスドボックス接続用アカウントの作成(P.19)
 - ・ 監視対象フォルダーのパスの確認(P.22)
- ・ 管理者・利用者に確認後、複合機の再起動を行なってください。

CASE3

状況確認画面に以下のエラーが表示されている。

ファイルの移動に失敗

【原因】

- ・ 監視フォルダーの直下に、既に 1000 ファイル/フォルダーがある。
- ・ 移動先となるフォルダーに同一ファイル名のファイルが存在する。
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末(PC)にて開いている。(ロックされている)
- ・ 移動する対象ファイルを外部端末(PC)より移動/削除した。

【対処方法】

- ・ 外部端末(PC)にて監視フォルダーを確認してください。
 - ・ 移動する対象ファイルを外部端末(PC)にて開いていないか確認してください。
 - ・ 移動する対象ファイルを外部端末(PC)にて移動/削除していないか確認してください。
 - ・ 管理者・利用者に確認後、複合機の再起動を行ってください。
-

CASE4

状況確認画面に以下のエラーが表示されている。

サブフォルダーの削除に失敗

【原因】

- ・ 削除する対象ファイルを外部端末(PC)にて開いている。(ロックされている)
- ・ 削除する対象ファイルまたはフォルダーを外部端末(PC)より移動/削除した。

【対処方法】

- ・ 削除する対象ファイルを外部端末(PC)にて開いていないか確認してください。
 - ・ 削除する対象ファイルを外部端末(PC)にて移動/削除していないか確認してください。
-

CASE5

状況確認にエラーは出力されていないが、翌日の朝になってもファイルが移動または削除されていない。

フォルダー監視設定が正しく設定されていない

【原因】

- ・ 監視フォルダーが有効になっていない。

【対処方法】

- ・ 監視フォルダー設定画面で設定した監視フォルダーのチェックが ON となっているか確認してください。

19 付録 エラーメッセージ・ログ 一覧

■状況確認のエラーメッセージ一覧

結果	原因	内容
WARN	設定ファイルから監視開始時刻の取得に失敗	監視開始時刻または監視間隔の取得に失敗しました。デフォルトの監視開始時刻または監視間隔で監視処理を実行します。
WARN	設定ファイルの監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから監視間隔の取得に失敗	
WARN	設定ファイルの監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから監視フォルダー設定フラグの取得に失敗	監視フォルダー設定フラグの取得に失敗しました。デフォルトの監視フォルダー設定フラグで監視処理を実行します。
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている。	
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている。	
WARN	設定ファイルから監視フォルダーパスの取得に失敗	
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	監視フォルダーパスの取得に失敗しました。監視フォルダー設定のフォルダーパスが正しく設定されているか確認してください。
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	
WARN	設定ファイルからユーザー名の取得に失敗	
WARN	設定ファイルのユーザー名に空文字列が設定されている	ユーザー名の取得に失敗しました。監視フォルダー設定のユーザー名が正しく入力されているか確認してください。アドバンスドボックスのユーザー管理で該当ユーザーアカウントが登録されているか確認してください。
WARN	設定ファイルのユーザー名にが文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルのユーザー名に不正な文字が設定されている	
WARN	設定ファイルからパスワードの取得に失敗	
WARN	設定ファイルのパスワードに空文字列が設定されている	パスワードの取得に失敗しました。監視フォルダー設定のパスワードが正しく入力されているか確認してください。アドバンスドボックスのユーザー管理で該当ユーザーアカウントのパスワードと一致しているか確認してください。
WARN	設定ファイルのパスワードが文字数制限を超えている	
WARN	設定ファイルのパスワードに不正な文字が設定されている	
ERROR	パスワードの復号化に失敗	
WARN	設定ファイルからリトライ間隔の取得に失敗	リトライ間隔またはリトライ回数の取得に失敗しました。デフォルトのリトライ間隔またはリトライ回数で監視処理を実行します。
WARN	設定ファイルのリトライ間隔に 300～3600 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルからリトライ回数の取得に失敗	
WARN	設定ファイルのリトライ回数に 1～3 以外が設定されている	
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗 (SMB)、リトライへ	監視フォルダー情報の取得に失敗しました。監視対象フォルダーにファイル又はフォルダーが1つも存在しない場合、エラーメッセージが表示されます。監視対象フォルダー内にファイル又はフォルダーが存在するかご確認ください。
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗 (SMB) (リトライ終了、またはリトライなし)	
WARN	設定ファイルから自動削除設定の取得に失敗	自動削除設定または保存期間の取得に失敗しました。デフォルトの自動削除設定または保存期間で削除処理を実行します。
WARN	設定ファイルの自動削除設定に空文字列が設定されている	
WARN	設定ファイルの自動削除設定に true/false 以外が設定されている	
WARN	設定ファイルから保持期間の取得に失敗	
WARN	設定ファイルの保持期間に 1～365 以外が設定されている	サブフォルダーの削除に失敗しました。本アプリケーション以外からサブフォルダーへアクセスしていないか確認してください。
ERROR	フォルダー削除に失敗 (SMB)	
WARN	設定ファイルからファイルの移動待機時間の取得に失敗	ファイルの移動待機時間の取得に失敗しました。デフォルトの待機間隔でファイル移動処理を実行します。
WARN	設定ファイルのファイルの移動待機時間に 0～60 以外が設定されている	
ERROR	移動先サブフォルダーの作成に失敗 (SMB)	移動先サブフォルダーの作成に失敗しました。監視フォルダー設定で入力したフォルダーにパソコンからアクセスできるか確認して下さい。監視フォルダー設定で入力したフォルダーにパソコンからアクセスして新規フォルダーを作成できるか確認して下さい。
	移動元ファイルが存在しない (SMB)	

		アドバンスドボックスの設定とユーザーアカウントの設定を再確認して下さい。
ERROR	ファイル移動処理失敗(SMB)	<p>ファイルの移動に失敗しました。</p> <p>ファイル移動処理のタイミングで移動対象のファイルがパソコン側で開いたままの状態だった可能性があります。</p> <p>リトライで移動先のサブフォルダーに移動できているか確認してください。</p> <p>移動できていない場合、パソコン側でファイルを開いている場合は閉じてください。</p>

■ログファイルの主な動作ログ一覧

種別	条件	ログメッセージ
INFO	アプリケーション開始	advbox_file_arrange start.
INFO	フォルダー監視タスクの起動	FolderWatch Task Start. (initialize)
INFO	フォルダー監視タスクの終了	FolderWatch Task Stop.
INFO	アプリケーション終了	advbox_file_arrange end.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 開始	FolderWatch Task Start.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 監視間隔による処理開始	FolderCheck process begins. [処理日時]
INFO	監視間隔による次回監視日時設定	FolderCheck. NextTime[次回監視日時]
INFO	フォルダー監視待機処理 - 監視間隔による処理終了	FolderCheck process is ended. [処理日時]
INFO	フォルダー監視待機処理 - 終了	FolderWatch Task Stop.
WARN	設定ファイルから監視開始時刻の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.starttime) is not found.
WARN	設定ファイルの監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.starttime) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視間隔の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.interval) is not found.
WARN	設定ファイルの監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.interval) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視フォルダー設定フラグの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is not found.
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている。	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is blank.
WARN	設定ファイルの監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている。	Config Parameter (foldersetting[1-10]) is invalid.
WARN	設定ファイルから監視フォルダーパスの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is not found.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is blank.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) length is over the limit.
WARN	設定ファイルの監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].path) is invalid. (設定値)
WARN	設定ファイルからユーザー名の取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is not found.
WARN	設定ファイルのユーザー名に空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is blank.
WARN	設定ファイルのユーザー名に文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) length is over the limit.
WARN	設定ファイルのユーザー名に不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].username) is invalid. (設定値)
WARN	設定ファイルからパスワードの取得に失敗	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is not found.
WARN	設定ファイルのパスワードに空文字列が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is blank.
WARN	設定ファイルのパスワードが文字数制限を超えている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) length is over the limit.
WARN	設定ファイルのパスワードに不正な文字が設定されている	Config Parameter (foldersetting[1-10].password) is invalid.
ERROR	パスワードの復号化に失敗	Password decryption failed. Exception メッセージ
WARN	設定ファイルからリトライ間隔の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.retry.interval) is not found.
WARN	設定ファイルのリトライ間隔に 300～3600 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.retry.interval) is invalid.

WARN	設定ファイルからリトライ回数の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.retry.count) is not found.
WARN	設定ファイルのリトライ回数に 1～3 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.retry.count) is invalid.
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB)、リトライへ	Getting folder information failed. (URL)(ユーザー名) FolderCheck Process Failed. It will be retried. [リトライ回]
ERROR	監視フォルダーの情報取得失敗(SMB) (リトライ終了、またはリトライなし)	Getting folder information failed. (URL)(ユーザー名) FolderCheck Process Failed.
INFO	フォルダー監視処理開始	FolderCheck Process Start. (URL)
INFO	フォルダー監視処理終了	FolderCheck Process End. (URL)
WARN	設定ファイルから自動削除設定の取得に失敗	Config Parameter (subfolder.autodelete) is not found.
WARN	設定ファイルの自動削除設定に空文字列が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete) is blank.
WARN	設定ファイルの自動削除設定に true/false 以外が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete) is invalid.
WARN	設定ファイルから保持期間の取得に失敗	Config Parameter (subfolder.autodelete.keeperperiod) is not found.
WARN	設定ファイルの保持期間に 1～365 以外が設定されている	Config Parameter (subfolder.autodelete.keeperperiod) is invalid.
INFO	フォルダー削除開始	START - Delete Subfolder Process
ERROR	フォルダー削除に失敗(SMB)	Delete Subfolder failed.(SMB) (削除フォルダーパス) Exception メッセージ
INFO	フォルダー削除終了	END - Delete Subfolder Process
WARN	設定ファイルからファイルの移動待機時間の取得に失敗	Config Parameter (folderwatch.filemove.waittime) is not found.
WARN	設定ファイルのファイルの移動待機時間に 0～60 以外が設定されている	Config Parameter (folderwatch.filemove.waittime) is invalid.
INFO	ファイル移動開始	START - Move File Process
ERROR	移動先サブフォルダーの作成に失敗(SMB)	Making dest subfolder failed.(SMB) (作成フォルダーパス) Exception メッセージ
ERROR	ファイル移動処理失敗(SMB)	FileMove failed.(SMB) (元ファイルパス -> 先ファイルパス) Exception メッセージ
INFO	ファイル移動終了	END - Move File Process
INFO	フォルダー監視待機処理 - 手動実行開始	FolderCheck process by manual operation or at start up begins. [処理日時]
ERROR	フォルダー監視待機処理 - すでに監視処理中	FolderCheck processings failed by running FolderWatch.
INFO	フォルダー監視待機処理 - 手動実行終了	FolderCheck process by manual operation or at start up is ended. [処理日時]
INFO	基本設定の変更に成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
ERROR	フォルダー監視処理が実行中の為、フォルダー監視の即実行に失敗	File move process is running now.
INFO	監視フォルダー設定の変更に成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
INFO	監視フォルダー設定の変更に失敗	ConfigFile output failure. (ファイルパス)
INFO	監視フォルダーへの接続に失敗	Confirming folder connection is failes. (SMB エラーコード)
INFO	インポートファイルを確認	HTTP Request: Filename = 指定ファイルパス, size = 指定ファイルサイズ bytes
INFO	設定のインポートに成功	ConfigFile output success. (ファイルパス)
ERROR	エクスポートする設定ファイルが存在しない	Received file is zero.
WARN	監視開始時刻が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.starttime) is not found.
WARN	監視開始時刻に 00:00～23:59 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.starttime) is invalid.
WARN	監視間隔が未設定	Config Parameter (folderwatch.interval) is not found.
WARN	監視間隔に 3,6,12,24 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.interval) is invalid.
WARN	監視フォルダー設定フラグが未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is not found.

WARN	監視フォルダー設定フラグに空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグに true,false 以外が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is invalid.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスが未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].path) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスに空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].path) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスが文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、監視フォルダーパスに不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10]) is invalid. (設定値)
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名が未設定	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名に空文字列が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is blank.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名が文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、ユーザー名に不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].username) is invalid. (設定値)
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードが未設定	Config Parameter (foldersetting1.password) is not found.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードが文字数制限を超えている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].password) length is over the limit.
WARN	監視フォルダー設定フラグが true で、パスワードに不正な文字が設定されている	Config Parameter (key=foldersetting[1-10].password) is invalid.
WARN	ファイルの移動待機時間が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.filemove.waittime) is not found.
WARN	ファイルの移動待機時間に 0~60 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.filemove.waittime) is invalid.
WARN	フォルダー自動削除が未設定	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is not found.
WARN	フォルダー自動削除に空文字列が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is blank.
WARN	フォルダー自動削除に true/false 以外が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete) is invalid.
WARN	フォルダー自動削除が true で、サブフォルダー保持期間が未設定	Config Parameter (key=subfolder.autodelete.keeperperiod) is not found.
WARN	フォルダー自動削除が true で、サブフォルダー保持期間に 1~365 以外が設定されている	Config Parameter (key=subfolder.autodelete.keeperperiod) is invalid.
WARN	リトライ間隔が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.retry.interval) is not found.
WARN	リトライ間隔に 300~3600 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.retry.interval) is invalid.
WARN	リトライ回数が未設定	Config Parameter (key=folderwatch.retry.count) is not found.
WARN	リトライ回数に 1~3 以外が設定されている	Config Parameter (key=folderwatch.retry.count) is invalid.
WARN	状況確認ファイルが存在しない	FileMoveState.xml NotFound. [ファイルパス]
WARN	移動状況ファイルのファイル移動ログのクリアに失敗	Clear FileMoveState Log failed.
INFO	移動状況のクリアに成功	Clear FileMoveState Log success.
ERROR	エクスポート対象のログファイルが存在しない	HTTP Response: Unknown log file name.

■設定インポート時のエラーメッセージ一覧

設定インポートに失敗すると以下のメッセージが画面上部に表示されます。正しい内容で設定ファイルをエクスポート後、再度インポートを行ってください。

エラーメッセージ	原因
監視開始時刻が不正です	監視開始時刻が未設定、または範囲外の値が設定されています
監視間隔が不正です	監視間隔が未設定、または範囲外の値が設定されています
監視フォルダー設定が不正です	監視フォルダー設定フラグが未設定、または不正な値が設定されています
監視フォルダーパスが不正です	監視フォルダーパスが未設定、または不正な値が設定されています
ユーザー名が不正です	ユーザー名が未設定、または不正な値が設定されています
パスワードが不正です	パスワードが未設定、または不正な値が設定されています
ファイルの移動待機時間が不正です	ファイルの移動待機時間が未設定、または不正な値が設定されています
フォルダー自動削除設定が不正です	フォルダーを自動的に削除するが未設定、または不正な値が設定されています
サブフォルダー保持期間が不正です	サブフォルダー保持期間が未設定、または不正な値が設定されています
リトライ間隔が不正です	リトライ間隔が未設定、または不正な値が設定されています
リトライ回数が不正です	リトライ回数が未設定、または不正な値が設定されています

Copyright Canon Marketing Japan Inc. 2014

注意：

1. 本書の内容の一部または全体を無断で複製することは禁止されています。
2. 本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやご不審な点が見つかりましたら当社までご連絡ください。
3. 本書の誤りによる場合も含め、本書の内容がもとで発生した一切の損害につきましては、当社での責任を負いかねます。